

第21期 第2回町田市立図書館協議会配布資料一覧

- 【資料0】 第21期 第2回町田市立図書館協議会次第
- 【資料1-1】 2024年度図書館外部評価に関する報告（案）
- 【資料1-2】 【コメント案・まとめ】 2024年度点検及び評価シート（図書館）
- 【資料2】 図書館からの報告事項
- 【資料3】 「押し本を伝えよう！ひとことPOPコンテスト2025」図書館協議会賞の投票について
- 【資料4】 図書館プランナーの活動報告について
- 【資料5】 F C町田ゼルビアとの包括連携協定に基づく読書活動推進事業について
- 【資料6】 2026年度町田市立図書館カレンダーについて
- 【資料7】 2024年度公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果について

当日配布資料

- 【当日資料】 2025年度図書館利用者アンケート総合満足度結果
- 【当日資料】 2025年度図書館利用者アンケート調査票
- 【当日資料】 2025年度移動図書館利用者アンケート集計結果（速報値）
- 【当日資料】 2025年度移動図書館利用者アンケート調査票
- 【当日資料】 生涯学習審議会_会議次第
- 【当日資料】 【資料1】 答申「今後の町田市立図書館のあり方について」に係る取組状況について

第21期 第2回町田市立図書館協議会次第

■日 時：2026年2月10日（火） 14：00～16：00

■場 所：町田市立中央図書館 6階中集会室

■次 第：

- 1 図書館評価について【資料1-1、資料1-2】
- 2 図書館からの報告事項【資料2～7】
- 3 その他

2026 年 2 月 10 日

町田市立図書館長
中嶋 真 様

町田市立図書館協議会委員長
小山 憲司

町田市立図書館の図書館外部評価に関する報告

1 はじめに

町田市立図書館協議会は、2025 年 9 月 26 日付文書「2024 年度図書館評価の外部評価について（依頼）」に基づき、「町田市の図書館評価」の外部評価機関として、2024 年度の評価を実施しました。以下、その経過並びに評価結果を報告します。

2 外部評価の実施方法・スケジュール

『町田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（2024 年度分）報告書』における図書館所管分（5 事業 13 指標）、並びに 2024 年度中央図書館事業について、外部評価を実施しました。

（1）方法

- ① 評価は全ての委員で担当する
- ② 1 事業につき 4 名の担当委員を設定し、委員それぞれで評価案を作成する
- ③ 全委員で全項目の評価案の確認を行い、外部評価を確定する

（2）スケジュール

2025 年 9 月 26 日 第 21 期第 1 回定例会で図書館外部評価の依頼を受ける
各事業について説明を受け、評価案について検討
その後、10 月中に各自評価案を事務局に提出

2026 年 2 月 10 日 第 21 期第 2 回定例会で評価案の全体確認と、外部評価に関する
報告の内容を確認。
その後、必要な修正を加えて提出

3 外部評価の結果

『町田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（2024 年

度分) 報告書』における図書館所管分(5事業13指標)、並びに2024年度中央図書館事業について、外部評価を実施しました。各事業に対し評価を記載しました。

4 外部評価実施による評価と提言

(1) 全体に関わる評価

2009年度より3期にわたって実施してきた外部評価は、2024年度から第4期となります。評価対象も3にあるとおり、『町田市教育プラン24-28』の図書館該当項目5事業13指標が対象となりました。併せて、年度ごとに市直営の図書館1館も評価することになり、2024年度は中央図書館が対象です。各項目に関して、次のとおり評価をまとめました。

1) 子ども・若者の読書活動推進

第五次町田市子ども読書活動推進計画を継続して策定した点は評価できる。今後は、計画に基づき、学校図書館を含む全市的な連携による読書活動の促進が期待される。また、若者参画による読書普及イベントは目標を上回り、「本の福袋」など子どもが新たな本に触れる機会を生む工夫も見られ、高く評価できる。一方で、こうした取り組みが十分に周知されていない点は課題である。全体として、子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、家庭環境による読書格差への対応、読書の意義を子どもに伝える工夫、学校との連携強化、不登校児童生徒への支援など、図書館が果たす役割は一層重要になっているといえる。

2) 学びにつなげる図書館体験

学びにつなげる図書館体験では、移動図書館の積極的な運行により、図書館を利用しにくい層へのアプローチが進んでいる点が高く評価できる。レファレンス事例の蓄積や地域に関するパスファインダーの整備も着実に進められており、利用者が調べやすい環境づくりを今後も継続してほしい。一方、図書館講座や体験事業は実施回数が増え目標を達成したものの、参加者数が限定的であることから、ターゲット設定の明確化が課題といえる。レファレンス件数は目標にわずかに届かなかったものの、これまでの実績を踏まえれば十分評価できる。他方で、生成AIが普及する時代におけるレファレンスの在り方を見据え、認知度向上や人材育成を進めることが今後の重要な検討課題となる。

3) 多様な図書館サービスの提供

障がい者サービスのPR、ボランティア養成講座、DAISY再生機器の貸出・操作支援のいずれも概ね目標を達成しており、取り組み自体は評価できる。一方で、サービスの質は件数ではなく利用者の満足度が重要であり、点訳ボランティア養成などはニーズ調査を踏まえた実施が求められる。ディスレクシア支援としてのリーディングトラッカーの貸出・提供やワークショップを通じたPR活動は評価できるが、子どもにとっても有効な支援であること

から、学校図書館との連携や周知の強化が必要である。また、本事業はいずれも読書バリアフリー法に基づくサービスとして位置づけられ、障がい者のみならず一般市民、外国人およびその子どもなど幅広い対象の認知と対応の強化が求められる。さらに、他自治体との連携や研修の充実など、サービス拡充に向けた取り組みが期待される。

4) 図書館再編と運営体制の構築

図書館再編と運営体制の構築に関しては、市民への丁寧な情報提供と対話の重視が共通して求められる。さるびあ図書館と中央図書館の集約では、意見交換会やアンケートの実施、結果の公表は評価できる一方、これらを形式的に終わらせず、市民ニーズを継続的に把握し、課題への対応を明確に示す必要がある。つるかわ図書コミュニティ施設は官民協働の新たな取り組みとして期待され、利用者の声を反映する工夫も評価できるが、補助金の在り方や持続可能な運営支援が課題である。また、指定管理者による鶴川駅前図書館の運営は概ね良好とされるものの、鶴川図書館の転換を踏まえ、両施設が地域住民にどのようなサービスを提供していくか検討が求められる。さらに、各館ごとの評価導入や文化施設との連携、SWOT 分析などの分析手法の活用、市民対立を避けた慎重な集約検討など、透明性と継続的評価を重視した運営体制の構築が必要である。

5) 地域で活動する図書館ボランティアの育成・支援

市民向け絵本の読み聞かせ講座の開催回数や、おはなし会ボランティアの新規登録者数が目標を達成した点は評価できる。一方で、読み聞かせ講座は基礎編 1 回目や実践編で定員を下回っており、参加者の評価が概ね良好であることを踏まえると、講座内容に加えて周知方法や開催方法の見直しが求められる。おはなし会ボランティアは、応募者が定員を大きく上回るなどニーズの高さが示されており、受け入れ枠の拡大や他のおはなし会への誘導など柔軟な対応が望まれる。さらに、障がい者サービスにはボランティアだけでなく職員にも高度な専門性が必要であり、意見反映の仕組みや研修体制の充実が重要である。障がい者サービスボランティア養成講座が事前アンケートを通じて課題を把握し、実践的な内容を実現した点は高く評価できる。

6) 中央図書館事業

中央図書館は、図書館プランナーによる若者向け企画や多様なイベントの実施、電子書籍サービスの拡充、地域資料のデジタル化など、個々の事業を着実に推進しており、利用促進に一定の成果が見られる。システム更改に伴う休館の影響はあったものの、来館者数は月平均で増加し、登録者数も伸びている。一方で、貸出点数やリクエスト件数は減少傾向にあり、利用実態の丁寧な把握が課題である。イベントの参加者数は増加したのもあれば減少したのもあり、各回のばらつきも大きいことから、人的資源とのバランスを踏まえた実施計画の検討が必要となる。若者向け学習スペース「わいわいキャレル」や電子書籍サービスの

利用は増加しており、さらなる周知と利便性向上が期待される。同時に、多様な背景をもつ子どもたちの学びの場としての図書館の役割にも注目したい。財政が厳しい中で資料購入費を維持し蔵書の充実に努めている点は評価できるが、老朽化した施設の修繕は喫緊の課題である。中央図書館および町田市立図書館が抱える課題に対応するため、有資格正規職員の適切な配置や、市民との意見交換の場である図書館協議会での積極的な対話が求められる。

(2) 外部評価実施全体に関わる提言

4 (1) でも述べたとおり、2024 年度の図書館評価は新たな方法で実施されました。その結果を踏まえ、次の 2 点を指摘します。

1) 外部評価そのものに対する意見

複数の委員から、外部評価の対象となる報告書や資料について、書式の不統一や記述内容のばらつきなど、体裁、内容の両面で問題点が指摘された。評価やその準備は業務負担の増加につながり得るが、図書館活動を市民に分かりやすく伝えることは、公共サービスを担う自治体の重要な責務であり、外部評価を図書館協議会に依頼する際にも同様の姿勢が求められる。『町田市の図書館評価：2023 年度事業の評価結果』（以下 2023 年度評価）においても、各図書館の取組の見える化が課題として示されており、今後の改善が期待される。さらに、第 21 期第 1 回図書館協議会では、開催回数が 2 回となったことで委員同士の意見交換の機会が限られ、市民として意見を届けにくいとの指摘もあった。この点も 2023 年度評価の「2) 評価活動の課題」で「①外部評価における十分な時間の確保と、新委員への事前説明」として課題に挙げられている。これまでも丁寧な外部評価が実施され、それを図書館事業に生かしてきたからこそ、外部評価の適切な実施と実質化を一層求めたい。

2) 過去の評価結果との比較

2024 年度の外部評価対象となった 5 事業のうち、図書館による評価は A が 1、B が 4 であった。内訳を見ると、計画以上の目標を達成した活動が 6、目標を達成したものが 6、目標に届かなかったものが 3 である。目標に届かなかった活動が 3 つあるが、(1) で述べたとおり、いずれもほぼ目標に近い水準にあると考えられる。他方、2023 年度は A (計画以上に目標を達成した) が 7、B (目標を達成した) が 4、C (おおむね目標を達成した) が 8、D (目標に達しなかった) と E (目標を大きく下回った、実施できなかった) は 0 であった。評価指標が異なるため単純比較はできないものの、達成状況は概ね前年と同程度であり、計画に基づく事業推進に継続して取り組んでいる姿勢がうかがえる。

また、これまで繰り返し求められてきた資料購入費については、決算額で見ると 2023 年度の 47,459 千円から 2024 年度は 46,625 千円へと 834 千円の減額となった。市民一人あたりの年間貸出点数は 6.82 冊から 6.19 冊へ、蔵書回転率も 2.52 回から 2.31 回へと減少が続

いている。これらの数値のみで図書館活動を評価することはできないが、資料費は図書館運営の基盤であることから、今後も予算確保に向けた積極的な取り組みを期待したい。

5. 結び

図書館協議会は、「2024 年度図書館評価」の外部評価機関として評価を実施しました。繰り返しのなりますが、今回は新しい評価方法で評価に臨みました。その結果、評価項目に関わる図書館活動の目標は概ね達成されており、この点は高く評価できます。他方、市民による図書館利用は漸減傾向にあります。図書館活動の基本を維持しつつ、市民ニーズや社会情勢に応じた柔軟な取り組みが求められます。今後、本外部評価が図書館活動のさらなる向上に資することを期待します。

基本方針 I	施策5 学びのきっかけとなる機会を提供する		
重点事業16	子ども・若者の読書活動推進	所管課	図書館
目的	・子どもや若者が多種多様な情報から主体的に必要な情報を選び、自身の考えを形成する能力を身に付けることができるように、子ども・若者の読書活動を推進します。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「第五次町田市子ども読書活動推進計画(2025年度～2029年度)」を策定し、推進します。 ・読書や図書館に興味がわくようなイベントを実施し、子どもや若者が読書や図書館に興味をもつきっかけをつくります。 ・文学館では絵本や児童文学などを題材にした展覧会・イベントを開催し、絵本や物語の魅力を伝えます。 		
活動指標	指標	目標値(2024年度)	実績値(2024年度)
	①「第五次町田市子ども読書活動推進計画(2025年度～2029年度)」の策定と推進	策定	策定
	②若者が参画する読書普及イベントの実施件数	2件	5件
	③絵本、児童文学、漫画を題材にした展覧会の実施	実施	実施
2024年度の計画に対する達成状況	A 計画以上に目標を達成した		
達成状況の理由	①は目標を達成し、②は目標以上の成果を達成し、③は目標を達成し、さらに「チリとチリ展」では開館以来最高の来館者数であったため、A評価としました。		
2024年度の取り組み状況	<p>①国や東京都の計画や、子ども読書の現状を踏まえながら、町田市子ども読書活動推進計画推進会議に諮り、計画を策定しました。</p> <p>②イベントの企画運営を行う若者ボランティア「図書館プランナー(*)」が企画したイベントを5件実施することができました。</p> <p>＜実施企画＞「本の福袋」企画、「恋と愛が叫びたがっているんだ 恋愛漫画推し語り会」、「図書みくじ」、「LLブック(*)のよみきかせ会」、「エコたわしをつくろう」</p> <p>③「チリとチリ展」を実施し、開館以来最高の17,134人の来館者となり絵本の世界を多くの人に知ってもらうことができました。また、会期中に実施した幼児から小学生を対象としたワークショップは、子どもたちが絵本の世界を楽しむ機会となりました。浅野いにおのミニ展示は、作品の映画公開に合わせて実施しました。</p>		
課題	<p>①子どもの不読率を下げるために、関係各所で連携して取り組む必要があります。</p> <p>②今後も活発な活動が継続してできるようにする必要があります。</p> <p>③子どもや若者が自ら本に興味をもてるよう、作品の選別、展示内容の工夫が重要です。</p>		
今後の取組の方向性	<p>①町田市子ども読書活動推進計画推進会議で、子どもの読書活動について関係各所と情報共有を行っていきます。</p> <p>②今後も「図書館プランナー」が活発に活動ができるように、サポートを行っていきます。</p> <p>③夏季企画展を中心に絵本等の作品世界を楽しめる展覧会を企画・実施します。</p>		

<p>外部評価者の コメント</p>	<p>【評価】 ・「第五次町田市子ども読書活動推進計画」が継続して策定されたことを評価します。今後も、計画にしたがって基本目標の達成に取り組んでいくことを期待します。 ・多様な個性や背景をもつ子どもたちが増えている現在、小学校1クラス(35人)には「家にある本が少なく学力の低い傾向が見られる子」が12.5人(35.6%)いるという資料もあります。学校はもちろん、家庭・地域と連携を図り、今後も「第五次町田市子ども読書活動推進計画」を着実に進めることによって、「自ら進んで読書をする子どもを育てる」という基本理念の具現化を目指してほしいと思います。 ・第一次からの20年あまりで、子どもを取り巻く環境は、スマホ等のデジタルデバイスがいとも容易に身近に存在する等、激変しました。それは小学1年生で本が読むことが好きと回答した6割から7割近い数字が、6年生では半減することにも関連していることが予想されます。このような環境下で「本を読む」ことを推進することには困難が予想されますが、今後も指針策定の継続を強く希望します。「なぜ私たちは読書を勧めるのか」を容易に理解できる表現、言葉で子どもたちへ伝えていくことも必要なかもしれないと感じました。</p> <p>・イベントの実施件数が目標2件に対して、5件を計画、実施できたことは高く評価できます。イベントの内容および参加者数はわかりませんが、例えばこの参加者数は多いのか、少ないのかなど、これを判断する材料があるとよいと思います。また、イベントは実施するとともに、図書館プランナーによる企画や準備も重要な学びのプロセスです。イベントのふりかえりに関する情報も提供されるとなるとよいと考えます。 ・「本の福袋」のように、子どもたちが本に触れる・まだ読んだことのないジャンルに触れるきっかけにも繋がっているほか、様々な工夫が凝らされているイベントが多く、とても良いと思います。ぜひ、このまま継続してほしいです。 ・図書館プランナーの独自視点での多種多様な活動を高く評価します。「本の福袋」は日々、時間に追われる生活をおくる中高生が「本を読みたい」と感じたときに、敷居を低くするきっかけとなり得る企画と感じました。</p> <p>【関連事項提言等】 ・中学生以上の生徒の読書活動は公共図書館だけでなく、学校および学校図書館の果たす役割がとても大きいと考えます。学校図書館への専門職の配置などを含め、全市をあげて取り組んでもらいたいです。 ・図書館プランナーの活動が広く周知されていないことが懸念されます。大きな社会問題となっている不登校児童生徒が、学校以外の人と関わる場としての有意性も検討の余地があるのではないのでしょうか。学校との連携を進めていく上でのあらたな視点の検討を期待します。</p>
------------------------	---

基本方針 I	施策5 学びのきっかけとなる機会を提供する		
--------	-----------------------	--	--

重点事業18	学びにつなげる図書館体験	所管課	図書館
目的	・市民の学びのきっかけとなるように、図書館サービスをより多くの人に体験してもらう取組を実施します。		
事業概要	・自分に合った図書館の利用方法を知ってもらうための講座等を実施します。 ・本との出会いをつくるため、移動図書館によるイベントへの出張運行や保育園・幼稚園への訪問活動を実施します。 ・暮らしの中で役に立つレファレンス事例を紹介するリーフレット等を作成するなど、レファレンスサービス(*)を身近に感じる取組を実施します。		
活動指標	指標	目標値(2024年度)	実績値(2024年度)
	①図書館講座・図書館員体験の実施回数	8回	11回
	②移動図書館の出張運行箇所	12か所	13か所
	③レファレンス件数	4,000件	3,978件

2024年度の計画に対する達成状況	B 目標を達成した		
達成状況の理由	①②は目標以上の成果を達成し、③は目標に一步届かなかったため、B評価としました。		
2024年度の取り組み状況	<p>①図書館の活用方法などを学ぶ講座・体験等を合計11回実施しました。講座等の総参加者数は172人で、特に、夏休み期間に行った中高生向け講座・謎解きイベント「まちクエ2024」は大人も含め127人の参加があり、図書館を知ってもらう良い機会を創出することができました。</p> <p><開催した講座等> 図書館入門講座、調べもの講座、小学生向け講座、中高生向け講座、絵本講座、まちだ探・探ゼミナール(生涯学習センター共催)、大学図書館を使ってみよう(和光大学共催)、一日図書館員(4回)</p> <p>②イベント会場や保育園・幼稚園など子どもの集まる場所へ13か所、73回実施し2,586人の方にご利用いただきました。会場では本の貸出やおはなし会を行い、日頃図書館を使用しない方も含め、図書館サービスを体験してもらうことができました。</p> <p>③2024年度のレファレンス件数は、3,978件でした。関連事業として、レファレンス事例や資料を紹介する「レファレンス通信」を2回発行、パスファインダー「医療情報編」3種類の改訂、レファレンス事例をインターネットで27件公開するとともに国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している「レファレンス協同データベース」にも公開しました。</p>		
課題	<p>①講座の募集において内容がわかりにくいものがあったため、内容の整理やPR方法の工夫をする必要があります。</p> <p>②図書館サービスを多くの方へ体験していただくために、子どもが集まる場所を中心に新たな運行先を増やす必要があります。</p> <p>③レファレンスについては、サービスの認知度の向上と、充実に向けた人材育成を行う必要があります。</p>		
今後の取組の方向性	<p>①それぞれの講座で重複する部分などの整理を進めて、効果的に講座を開催できるようにします。</p> <p>②保育園や幼稚園などへのニーズ調査や出張運行のPR活動を行い出張運行先の拡大に取り組みます。</p> <p>③レファレンスについては、既存の取組を継続するとともに、その内容を情報発信することで多くの方にレファレンスサービスを活用してもらえようようにします。</p>		

外部評価者のコメント	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用者、支援者を増やすとともに、図書館への理解を深まるよう、ひきつづき講座を開催していくことを期待します。 ・目的が「市民の学びのきっかけ」とあるように、ターゲットが広過ぎるように思われます。成人が図書館を初めて利用することは考えにくく、ターゲットを絞った方がねらいを明確にできます。実際に①②は児童・生徒・学生向けのイベントや運営となっており、大人向けの講座等は数も少なく参加人数も多いとは言えません。 ・報告書の書式、内容に統一がなく、レベルにも差があり、評価がしにくいです。 ・広く体験の機会を設けて、実施していることは高く評価できます。参加者数は利用者に対して決して多いとは評価できませんが、こうした地道な仕事が直営図書館の役割と考えます。 ・全体に反省が細かいことが多いです。きちんとすることは大事ですが、実績が上がっているのだからあまり神経質にならず、利用者サービスを考えてよいと思います。 <p>・移動図書館の出張運行を積極的に進めており、日常で図書館を利用しない人、しにくい人にアプローチできていることは好ましいことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い市に対し、8か所しか図書館のない町田市にとって、移動図書館を知ってもらうのは重要な業務です。人員の確保の難しさや天候に左右されるなど困難な課題があるなか、目標値を上回ったことは高く評価できます。 ・特に図書館へ出向くのが困難な利用者、一人では行けない子どもたちに、その存在を知らせ、そこに「本への窓口」があることへの気づきをもたらすことができるのは「情報に接することの公平性」のうえでも有効と考えます。貸出冊数こそ少ないものの、移動図書館で本を借りる体験ができるのは、子どもたちにとって、数字ではカウントできない意味があると評価できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス事例を蓄積、紹介するとともに、パスファインダーなどの情報源を継続的に整備していることを高く評価します。特に、地域に関するパスファインダーを多く提供していることは好ましいことです。 ・引き続き、積極的にレファレンス事例を蓄積、紹介していくとともに、パスファインダーの拡充など、利用者が調べやすい情報源、環境の提供を進めていくことを期待します。 ・レファレンスに関しては、人材育成も大切ですが、利用してもらうには認知度をさらに上げていく必要があると思いますので、そういった取り組みを今後も継続して行ってほしいです。 ・従来から町田市立図書館のレファレンスはレベルが高いものであり、目標に達しないと言っても僅かであり、Aを付けられないまでも、十分評価できると思います。 <p>レファレンス自体が日本では知る人だけが知る馴染みのない分野であるうえに、今ではネット検索で多くのことが「分かった」と思われている状況なので、認知度の向上には一層の工夫が求められると思います。課題にある通り、「充実に向けた人材育成」は大変重要であり、家のネットで十分だったなどと思われないよう、人材、ツールを充実させていきたいです。</p> <p>【関連事項提言等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが集まる場所への拡充が課題とされていますが、病院や福祉施設など、図書館へのアクセスが難しい人、場所への運行の拡充も検討されることを期待します。 ・レファレンス件数は、件数ではなく、貸出冊数や利用者数との相関関係などのパーセンテージ推移を指標とした方が合理的と考えます。生成AI全盛の時代に、図書館におけるレファレンスは、専門知識をもつ図書館司書やそれに相当する図書館員など人間が対応するものと、AIを含む情報通信機器によるもの、そしてそれらを複合的に活用するものの3種類になっていくと思われます。レファレンス担当者のスキル向上の取組を指標とすることも必要であると考えます。 ・レファレンスについては、個人の調べものをするツールが普及したこともあり、図書館ならではの機能をより積極的にアピールしていく必要があると思われれます。国立国会図書館との連携等は学びをより深めるための情報を身近で得られる機会です。このような情報を広く市民が知っている必要があると考えます。
------------	---

基本方針II	施策3 誰もが学べる機会を提供する		
重点事業23	多様な図書館サービスの提供	所管課	図書館
目的	<p>・全ての人が自分の利用しやすい方法で読書ができるよう、読書バリアフリー法に基づいたサービスを提供します。</p>		
事業概要	<p>・対面朗読、音訳資料や点訳資料の製作・貸出、資料の郵送貸出サービスなどを行い視覚障がい者等へサービスを提供します。また、図書館への来館が困難な市民に向けて宅配サービスを提供します。電子書籍の特性を生かし、来館が困難な市民の読書を支援します。</p> <p>・展示等によりディスレクシア(識字障がい)等を含めた障がい者サービスのPRを行い、利用を促進します。</p> <p>・対面朗読などを行っているボランティアの技術向上に向けた講座や、新たにボランティアに興味をもてるような講座を開催します。</p> <p>・デージー(デジタル録音図書)再生機器の貸出や操作支援をすることで、障がい者のデジタル資料の活用を促進します。</p>		
活動指標	指標	目標値(2024年度)	実績値(2024年度)
	①障がい者サービスPR展示等の実施件数	5件	8件
	②障がい者サービスボランティア養成講座の受講者数	10人	9人
	③デージー再生機器貸出・操作支援	実施	実施
2024年度の計画に対する達成状況	B 目標を達成した		
達成状況の理由	①は目標以上の成果を達成し、②は目標達成まであと一歩届かず、③は目標を達成したため、B評価としました。		
2024年度の取り組み状況	<p>①8件の取組を実施し、サービスの周知をはかりました。</p> <p><実施事業> 中央図書館障がい者サービスフロアにサービス周知の掲示物を設置、マルチメディアDAISY上映会、リーディングトラック作りワークショップ、点字絵本の特集コーナーを毎月設置、リーディングトラックの貸出、若手教員育成研修でマルチメディアDAISYの紹介、児童向け点字体験会、図書館プランナーによる「LLブックのよみきかせ会」</p> <p>②点訳ボランティア経験者向けの技能向上講座を行い、9人の参加がありました。</p> <p>③2024年度から貸出制度を開始し、2件の貸出及び操作支援を行いました。</p>		
課題	<p>①必要な方にサービスを利用してもらえるよう、PR展示などの広報を継続する必要があります。</p> <p>②ボランティア側の実施ニーズを調査し、効果的な講座を企画実施する必要があります。</p> <p>③貸出制度が始まったばかりであることから、対象者への周知を行う必要があります。</p>		
今後の取組の方向性	<p>①多くの方の利用につながるよう、展示やイベントなどの実施内容の改善を行います。</p> <p>②ニーズ調査を行い、効果的な講座を引き続き企画・実施します。</p> <p>③制度を周知し、必要とされる方に貸出を実施するとともに、デージー再生機器以外の読書支援ツールについて情報収集をします。</p>		

外部評価者の
コメント

【評価】

- ・PR展示等の実績件数が目標値以上の実績となったことは、多様性に向けての図書館の取組みが広く市民にも伝わる内容であり評価します。ディスレクシア等に向けてのPR活動は子どもたちの日々の学校生活でも合理的配慮の促進へつながるよう、今後も周知促進のためにも継続実施を希望します。
- ・活動指標①②③とも目標値をほぼ達成できていることは一定の評価ができます。しかし、バリアフリーのサービスが提供できているかどうかは件数ではなく、満足度が高いかどうか重要です。
- ・図書館プランナーによる「LLブックのよみきかせ会」は若い世代の力を有効活用しているとても良い例だと思います。
- ・ボランティア養成講座は目標値まであと一歩でしたが合格点はクリアしていると思います。講座の報告書に説明がありましたが、事前にアンケートをとり受講者の普段から思っている疑問点に対して講師が答えるスタイルはとても効果的な進行方法だと思います。
- ・講座などは、図書館側の課題として挙げている「ニーズ」があるかどうかの調査・分析も重要だと考えます。
- ・障がい者サービスには専門的な意識とスキルが必要であり、ボランティアや担当職員のスキルアップが求められます。事前アンケートで課題を把握し、実践的な講座を開催した点が高く評価できます。今後も参加者のニーズに応じたきめ細やかな対応を期待します。
- ・デージーについての情報が広く市民に届いているか、検討の余地があると感じます。

【関連事項提言等】

- ・普段、図書館になじみのない人へのPRを強化して欲しいです。広報まちだでのさらなる周知やSNSでの発信も今後は必要になって来ると思います。
- ・ディスレクシアに対するサービスとして、リーディングトラッカーの貸出や提供は、中央図書館だけでなく、学校図書館でも必要と考えます。中央図書館による学校図書館支援の際に、図書委員を対象としたリーディングトラッカー作成講座を行うなどの検討もしていただくとよいのではないのでしょうか。
- ・ボランティア養成講座の実施について、実施は実務事業者向け「中級講座」であったようですが、今後、高度な技術を要するものでなければ、大人だけでなく中高生対象のものを企画する等、ボランティアのすそ野を広げていくことも検討できるのではないのでしょうか。
- ・他のボランティアへのスキルアップのための講座も不定期でもいいので開催を望みます。また、近隣の自治体の図書館で同じサービス内容のボランティアを行っているところがあれば連携して講座を開催出来れば広がりが生まれと思います。
- ・より多くの人にマルチメディアDAISYを紹介する機会が必要だと思います。図書館で行っているイベントの中で操作体験コーナーを設けたり、特に学生さん向けの体験会を行うことが効果的であると思います。
- ・この項目については単に障がい者サービスという観点からではなく、今後一層の推進が求められる「読書バリアフリー法」に基づき、バリアフリー・サービスとして、対応する必要があります。特に、ICTやAIの積極的な導入として、デジタルメディアデージーの一層の活用など、絵本あるいは障がい者対応のみならず、一般的な市民への情報提供サービスとして位置づけることを提案します。また増え続ける外国人への対応として、具体的には各図書館に「リンゴの棚」(ニーズのある子どもを対象とした公共図書館サービス)の設置 など 他の先進地域の方策に学ぶことが必要です。そして、そのためには国や都との連携及び他地区の図書館での研修の実施なども必要だと思われます。

基本方針III	施策2 学び続けることができる環境を整備する		
重点事業33	図書館再編と運営体制の構築	所管課	図書館
目的	・図書館サービスを安定的に果たし、新たな価値を創出するために、図書館の再編と運営体制の効率化について検討を行います。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・さるびあ図書館と中央図書館の再編においては、地域住民との対話を通じて最適な集約方法を検討します。 ・再編後の鶴川図書館について、地域住民の参画を進め、地域と「共に創り」「共に運営する」図書コミュニティ施設(*)へと転換します。 ・図書館全体の効率的・効果的な運営体制の検討・構築を目指します。 		
活動指標	指標	目標値(2024年度)	実績値(2024年度)
	①さるびあ図書館と中央図書館の集約	検討	検討
	②鶴川図書館の図書コミュニティ施設への転換と運営支援	図書コミュニティ施設準備	図書コミュニティ施設準備完了
	③図書館全体の運営体制の検討・構築	検証	検証
2024年度の計画に対する達成状況	B 目標を達成した		
達成状況の理由	②は2025年度開設に向けた準備を完了することができ、目標以上の成果を達成しましたが、①③は目標達成であったためB評価としました。		
2024年度の取り組み状況	<p>①地域住民との意見交換会を2回、子ども若者世代との意見交換会を1回実施しました。また、町田地区にお住まいの方1,500人を対象とした無作為抽出アンケート調査を実施し、525人から回答を得ました。</p> <p>②5月から、「(一社)つるかわ図書コミュニティ施設運営協議会」がコミュニティスペースの運営を開始し、利用者との意見交換や工作などを企画・実施しました。また、施設の愛称を地域で募集するなど、地域での関係を深めながら、施設の開設準備を完了させました。さらに、町田市立図書館条例の一部改正、施設運営事業に関する補助金交付要綱制定などを行いました。</p> <p>③指定管理者が運営する鶴川駅前図書館について、学識経験者2名で構成される管理運営状況評価委員会を開催し、2023年度の運営状況の評価結果の検証を行いました。利用者満足度や来館者数が目標を達成していることを確認し、施設の運営状況が良好であることを確認しました。また、鶴川図書館において、地域と共にコミュニティスペースの運営を開始しました。</p>		
課題	<p>①これまで地域からいただいたご意見をふまえ、最適な機能再編方法の決定に向けた検討を行う必要があります。</p> <p>②2025年5月からの運営がスムーズに行われるよう、運営団体の支援をする必要があります。</p> <p>③図書館全体の効率的・効果的な運営につながるよう、指定管理者の運営状況をモニタリングするとともに、つるかわ図書コミュニティ施設の効果検証手法を検討する必要があります。</p>		
今後の取組の方向性	<p>①機能再編方法の決定に向け、引き続き検討を進めます。</p> <p>②地域でのコミュニティづくりが進むよう支援を実施します。</p> <p>③引き続き毎月の運営状況の確認、評価委員会での検証を進めていきます。また、つるかわ図書コミュニティ施設の運営状況について効果検証を行います。</p>		

外部評価者の
コメント

【評価】

- ・いずれの事業も、市の方針および財政に直結する課題であることは認識できますので、市民への情報提供を十分に行うとともに、市民目線での検討が重要です。市民との対話が複数回行われていること、アンケート調査により市民の意見を聴取していることなどは評価できますが、これらにとどまらず常に市民のニーズにも敏感であってほしいです。
- ・さるびあ図書館と中央図書館の集約について、アンケートが行われ、その結果が公表されていることは好ましいことです。形式的な意見聴取にならないよう、説明会やアンケートのなかで示されてきた課題について、どのように対応できるのか、ひとつひとつ丁寧にまとめていくことが重要と考えます。
- ・町田市ホームページで取り組み状況や経過が丁寧に公開されています。地域住民との意見交換会は23年度に3回、24年度に3回開催され、子ども・若者の意見交換会では安心して意見表明できる環境が整えられていたことは高く評価できます。
- ・一般市民対象の意見交換会では反対意見が多く、少数意見が表明しにくい状況が見られたため、心理的に安心して発言できる環境づくりが必要です。ぜひ検討してください。
- ・個別の意見交換会は回数が多いものの参加者が1人と少ないことが課題であり、周知方法の改善が必要とされます。
- ・中央図書館とさるびあ図書館の集約に関する市民意識調査は有効と評価します。調査協力者への説明責任として、図書館としてデータの活用法、調査結果の分析(課題と改善等)等を公表することも検討してください。
- ・市民との対話を丁寧に重ねていくことを希望します。また市民同士での対立が生まれることがないように、集約への検討には時間をかけていくことも希望します。

- ・「つるかわ図書コミュニティ施設」は新しい取り組みです。民間によるあらたな図書サービスの充実を期待するとともに、市立図書館による適切な支援も求めたいです。
- ・地域住民との対話を重ね、官民協働で準備を進めた結果、施設を無事開設し、地域に根付いた新たな事業として高く評価します。運営は補助金事業で行われており、スタッフがボランティアではなく仕事として従事できるような体制にするべきです。持続可能な施設とするため、スタッフの声を聴きながら支援を続けることを期待します。また、イベントを通じて利用者の意見を集める取り組みが評価されており、地域の財産として丁寧な運営を期待します。
- ・長年地域に親まれてきた鶴川団地図書館が、運営形態は変化しても、本のある場所が存続されたことを評価します。一方、つるぼんの運営においては、収益事業が何もないことから市の支援が必須のため、図書の内容、スタッフの質、運営の質等を落とさないためにも、今後、予算削減等がされることがないように希望します。

- ・図書館全体の運営体制の検討・構築については、指定管理者制度が導入されている鶴川駅前図書館について、管理運営状況評価委員会が開催されていることを高く評価します。全体として良好という評価となっていますが、これまでの委員会で指摘されている課題が解消されるよう、改善を図っていくことが重要であるといえます。
- ・鶴川駅前図書館は来館者数と利用者満足度が向上し、運営が順調であると高く評価します。また、管理運営状況評価委員会を設けることは、自己評価の適正性や公正性の検証を補完する上で必要であり、それを公表する自治体の姿勢は評価できます。しかし、検索しにくいため、手順の公開などの改善が必要とされています。
- ・指定管理、コミュニティ施設となった後も、公共サービス時と同様、誰もが便利に充実して利用ができるようモニタリングの継続実施、評価の継続、支援の継続を望みます。

【関連事項提言等】

- ・鶴川図書館の図書コミュニティ施設への転換と運営支援については、どのような支援が可能なのか丁寧に示していくとともに、鶴川図書館が転換したことをふまえ、鶴川駅前図書館の拡充や移動図書館の運行など、これまでの鶴川図書館の利用者が不利益を被らないよう、どのようにサービスを展開していくのか検討する必要があります。
- ・施策の「学び続けることができる環境を整備する」ことは大切な方向性です。さるびあ図書館が町田市独自の移動図書館として大いに機能していると考えます。今後とも市民に対する読書及び読書活動のアウトリーチとして期待しています。
- ・図書館の運営については、度々申し上げているように各館ごとの評価が必要です。中央図書館の評価として事業別業績評価シートが提示されていますが、これと同様に他の図書館でも実施する方向もよいでしょう。ただし、このシートは数値的な部分を含めかなり複雑であるので、各館の内部評価を含む利用者の反応など、簡単なシートで良いので実施することが望まれます。
- ・図書館運営については、市民文学館(ことばらんど)や国際版画美術館、自由民権資料館などとのコラボ企画も大いに検討・採用していただき、まさに「地域とともにつくり」共に運営する」図書コミュニティ施設を町田全域で開することを希望しています。
- ・鶴川図書コミュニティ施設の動向について、今後の他館との関係も含め、この方向の現状と課題、可能性や留意点などSWOT分析を実施することをご提案します。
- ・全般的に活動指標に対する目標値と実績値を踏まえて、指標に対する評価をABCD 4段階で行うと良いと思われます。それに基づき達成状況評価を示すことが良いと考えます。

基本方針IV	施策2 地域での学びを推進する		
重点事業39	地域で活動する図書館ボランティアの育成・支援	所管課	図書館
目的	・魅力的な本と出会い読書に関心をもってもらうため、本と触れ合うことができる活動がより地域で活発に行われるよう、地域や学校で活動するボランティアを支援します。		
事業概要	・おはなし会など本に関する活動を行うボランティアを育成するとともに、ボランティアが行うおはなし会の開催を支援します。 ・点訳や音訳のボランティアの技術向上や、おはなし会を実施できる担い手の裾野を広げるための講座を開催します。		
活動指標	指標	目標値(2024年度)	実績値(2024年度)
	①市民向け絵本の読み聞かせ講座(基礎編、応用編、実践編)の開催回数	3回	3回
	②おはなし会ボランティアの新規登録者数	5人	14人
	③障がい者サービスボランティア養成講座の受講者数(再掲)	10人	9人
2024年度の計画に対する達成状況	B 目標を達成した		
達成状況の理由	①は目標を達成し、②は目標以上の成果を達成し、③は目標達成まであと一步届かなかったため、B評価としました。		
2024年度の取り組み状況	①市内の小学校や学童クラブなどで読み聞かせに関わる活動をしている保護者等を対象として、基礎編を2回、実践編を1回実施しました。 ②絵本の読み聞かせを主に行うおはなし会ボランティア養成講座を新規に開催し、ボランティア登録をしていただきました。受講者は15人、修了者は14人でした。 ③点訳ボランティア経験者向けの技能向上講座を行い、9人の参加がありました。		
課題	①講座内容が固定化しており、興味を引くような新たなテーマでの講座の開催について検討する必要があります。 ②登録をしていただいたボランティアへの活動支援を実施する必要があります。 ③ボランティア側の実施ニーズを調査し、効果的な講座を企画実施する必要があります。		
今後の取組の方向性	①新たなテーマを設定し講座を開催します。 ②ボランティアの方が図書館でのおはなし会を担っていただけるように活動支援を行います。 ③障がい者サービスボランティア養成については、ニーズ調査を行い、効果的な講座を引き続き企画・実施します。		

外部評価者の
コメント

【評価】

・令和6年の不読率は小学校8.5%、中学校23.4%、高等学校48.3%でした。しかもどの校種も前年より増加しているという結果です。何とか“読書離れ”に歯止めを掛けたいところです。やはり未就学児から小学校高学年までに行う「読み聞かせ」は有効な方法の一つではないでしょうか。「読み聞かせ」によって触れることのできる本の世界や、読んでくれた人との交流が、子どもの読書習慣に大なり小なり影響を与えるに違いありません。そうした担い手を育成する取組を今後も力強く進めていただきたいと思ひます。

・日々の子ども支援活動の中で、子どもたちが本に出合う機会を増やしていくことは、幼少期の環境が肝心であると感じています。身近な場所できっかけづくりをしてくれる大人が存在することは、とても大きな影響力を持ちます。引き続き、ボランティア育成・支援の充実を望みます。

・市民向け絵本の読み聞かせ講座は目標値を達成したこともそうですが、開催場所による定員の設定や講座の進行方法を熟慮されたことがうかがえたので評価します。

・講座を年に3回も開催するのは、準備や事後処理の仕事量から考えれば高く評価できます。が、どのような方針で、どのような内容の講座なのか、そこが回数より重要であり、そこも評価対象にできるとよいと思ひます。

・講座開催数は目標を達成したことは評価できますが、定員を下回る回もあり、周知方法や開催方法の改善が必要と考えます。担当者間で丁寧に振り返りをされていることは評価できます。しかし、会場の広さの都合で定員を減らすとの記載があり残念です。会場変更など参加者のニーズを優先した工夫が求められるので、検討してください。

・おはなし会ボランティアの新規登録者数は、大幅に目標値を上回ったことは評価します。応募者29名で定員の関係で15名しか当選として出来なかったのは非常にもったい無い気がします。

・ボランティア登録者数は目標を大きく上回り、受け入れ努力を高く評価します。

ボランティア支援は図書館サービス推進の重要な方針であり、モチベーション向上につながる丁寧な取り組みを期待します。

【関連事項提言等】

・さらなるボランティアのスキルアップのために、講座の回数を増やすことを望みます。図書館の職員さんの負担も考慮して、講座を丸ごと引き受けてくれる団体等に委託する方法も検討して欲しいです。

・応募者が定員を上回った場合は、他のおはなし会への誘導や補欠要員として登録の余地もあるといいと思ひます。

・ボランティアについては、ホームページで登録からフォローアップ体制を明示することで、計画が立てやすくなるのではないのでしょうか。

<p>●図書館プランナー 15歳から25歳までの図書館でのイベントの企画や運営を行うボランティアのこと。</p>
<p>●LLブック 誰もが読書を楽しめるように工夫してつくられた、「やさしく読みやすい本」のこと。</p>
<p>●レファレンスサービス 利用者からの様々な調べものについて、図書館の資料や機能を活用してお手伝いするサービスのこと。</p>
<p>●図書コミュニティ施設 本を介して目的や用事がなくても気軽に過ごせる地域の居場所となるよう、本の閲覧や貸出を行う「図書提供機能」と、利用者同士や地域の方々との会話や地域活動等を生み出す「コミュニティ機能」を併せもつ、地域の方々が主体となって運営する施設。</p>

2024年度 事業別行政評価シート

部名	生涯学習部	主管課名	図書館
歳出目名	図書館費	特定事業名	中央図書館事業
事業類型	2:施設運営型		

1.事業概要

基本情報	根拠法令等	図書館法、町田市立図書館条例、町田市立図書館条例施行規則						
		2022年度	2023年度	2024年度	施設の名称	町田市立中央図書館		
	蔵書数(視聴覚資料含む)	580,278点	581,259点	584,142点	建設年月日	1990年4月16日		
	予約・リクエスト件数	157,344件	134,937件	128,250件		2022年度	2023年度	2024年度
	貸出者数	295,924人	281,263人	264,858人	有形固定資産減価償却率	63.6%	66.1%	68.6%

2. 2023年度末の総括と2024年度の状況

①「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

◆「町田市教育プラン24-28」に掲げた、子ども若者の読書活動の推進、多様な図書館サービスの提供、図書館再編と運営体制の構築などの取組の展開が必要で、
 ◆若者から提案されたイベントの実現に向けて、必要なサポートを行います。
 ◆電子書籍サービスにつきましては引き続き利用促進に取り組む必要があります。

②「課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み」および取り組み状況

	短期的な取り組み(1~2年)	中長期的な取り組み(3~5年)
	◆若者からの提案を実現できるよう、中央図書館でのバックアップに取り組めます。◆電子書籍サービスの利用促進のためさらなるPRに取り組むとともに、学校との連携を継続し、児童・生徒の読書活動の支援を行います。◆消防設備点検結果を活用し、防火シャッターや排煙口改修工事など修繕を行います。	◆「町田市教育プラン24-28」に掲げた、子ども若者の読書活動の推進、多様な図書館サービスの提供、図書館再編と運営体制の構築などの取組を推進します。◆安心・安全に利用していただくために、老朽化が進む中央図書館の修繕を計画的に行い、施設の安全管理に努めます。
取組状況	◎ 高校生・大学生を中心とした図書館プランナーが企画したイベントを、5件実施しました。 ◎ 電子書籍サービスは各種イベント等図書館以外の場所でもPRすることで、2023年度より14,815点増加し119,112点の貸出がありました。 ○ 図書館の活用方法を知ってもらうための講座や体験等のイベントを開催し、185人の参加がありました。	

3.事業の成果

①成果指標の目標と実績

成果指標名	単位	区分	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度目標	目標(達成時期)	成果指標の定義
貸出点数	点	目標	1,138,000	1,138,000	1,138,000	1,138,000	1,138,000	1年間に貸出した図書資料の延べ点数(視聴覚資料を含む、電子書籍は含まない)
		実績	848,298	809,106	762,815		(2025年度)	
来館者数	人	目標	612,000	612,000	612,000	612,000	612,000	1年間に来館した利用者の延べ人数
		実績	526,063	546,529	538,169		(2025年度)	

②成果指標およびその他成果の説明

◆システム更改による休館の影響もあり2023年度と比較して来館者数は8,370人減少しましたが、月平均では増加しています。◆英語図書を活用や英語多読の周知のため、2回開催した英語多読講演会に29人、保護者向け(親子で参加)英語絵本読み聞かせ講座に13組の参加がありました。◆小・中学生の創造的思考力を育むため、デジタルツールを使った創作体験講座を開催し17人の参加がありました。◆図書館プランナーが企画したイベントを5件実施し、16人の参加がありました。◆中高生向けグループ学習室「わいわいキャレール」は延べ290組724人が利用しました。

4.財務情報

①行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	2022年度				2023年度				2024年度			
	2022年度	2023年度	2024年度	差額	2022年度	2023年度	2024年度	差額	2022年度	2023年度	2024年度	差額
	A	B	B-A		A	B	B-A		A	B	B-A	
人件費	331,027	343,202	384,444	41,242								
物件費	162,562	134,109	174,597	40,488	地方税	0	0	0	0	0	0	0
うち委託料	58,705	58,038	101,290	43,252	国庫支出金	0	1,290	9,927	8,637			
維持補修費	5,026	9,657	3,774	△ 5,883	都支支出金	8,520	8,963	12,180	3,217			
扶助費	0	0	0	0	分担金及負担金	0	0	0	0			
補助費等	54,984	54,172	54,543	371	使用料及手数料	0	0	0	0			
減価償却費	34,830	34,830	34,830	0	その他	1,605	1,394	4,188	2,794			
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	0	行政収入 小計(a)	10,125	11,647	26,295	14,648			
賞与・退職手当引当金繰入額	62,593	51,056	79,660	28,604	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	△ 640,897	△ 615,379	△ 705,553	△ 90,174			
行政費用 小計 (b)	651,022	627,026	731,848	104,822	金融収支差額 (d)	0	0	0	0			
					通常収支差額 (c)+(d)=(e)	△ 640,897	△ 615,379	△ 705,553	△ 90,174			

5.総括

①財務情報・非財務情報に基づく有効性の分析

◆おはなし会は延べ77回835人の参加がありました。夏休みイベント子ども向けクイズ「まちクエッツ」は全問正解者79人でした。中学生から大学生向けの「一日図書館員」は延べ4回13人の参加がありました。「本のおたのしみぶくろ」は258袋773冊の貸出しがありました。◆子ども映画会の参加者は155人、青少年映画会「Yシネマ」は64人、通常の映画会は全28回2,047人になりました。◆障がい者サービスのPRのため、マルチメディアDAISY上映会やリーディングトラッカー作り、点字体験会などを行いました。◆機器類を持たない方が電子書籍サービス等を利用してできるようにタブレット端末を用意し、88回貸出を行いました。◆第1号から掲載してある『広報まちだ縮刷版』等の地域資料98点、『まちだガイド』等の地図7点をデジタル化して電子書籍サイトに公開しました。

②財務情報・非財務情報に基づく効率性の分析

◆人件費は、職員構成の変動などにより41,242千円増加しました。◆物件費は、新図書館システム導入委託料の増加などにより40,488千円増加しました。◆維持補修費は、空調調和設備改修工事が完了したことなどにより5,883千円減少しました。◆国庫支出金は、デジタル田園都市国家構想交付金の増加などにより8,637千円増加しました。◆都支支出金は、市町村総合交付金の増加などにより3,217千円増加しました。◆その他行政収入は、ふるさと納税の増加などにより2,794千円増加しました。◆財源確保のため2025年2月から自動販売機を設置し、行政財産貸付料と売上分配金あわせて69千円の収入がありました。

③2024年度末の成果および財務の分析を踏まえた事業の課題

◆「町田市教育プラン24-28」に掲げた、子ども若者の読書活動の推進、多様な図書館サービスの提供、図書館再編と運営体制の構築などの取組の展開が必要で、
 ◆電子書籍サービスの認知度はまだ低いと考えられるため、利用促進に向けた取り組みが必要です。
 ◆非来館で登録・更新可能な新図書館システムの機能についてPRし、新規利用者を増加させます。
 ◆若者から提案されたイベントの実現に向けて、サポートを行う必要があります。

④課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

短期的な取り組み(1~2年)	中長期的な取り組み(3~5年)
◆電子書籍サービスの利用促進のためさらなるPRに取り組むとともに、学校との連携を継続します。◆新図書館システムになり来館せず利用者登録ができること、電子書籍サービスが利用できることをPRし、新規利用者を増加させます。◆若者からの提案を実現できるよう、中央図書館でのバックアップに取り組めます。	◆「町田市教育プラン24-28」に掲げた、子ども若者の読書活動の推進、多様な図書館サービスの提供、図書館再編と運営体制の構築などの取組を推進します。◆安心・安全に利用していただくために、老朽化が進む中央図書館の修繕を計画的に行い、施設の安全管理に努めます。

【評価】

- ・2023年度の総括を踏まえ、個別取組のいずれも推進できたことは評価できます。図書館プランナーによる活動は全国的にも図書館利用が少なくなるとされるティーンエイジャー世代への働きかけとなります。また、図書館の活用方法を積極的に発信する姿勢も評価できます。今後も継続して取り組んでもらいたいです。
- ・図書館プランナーなどの若年層による提案、イベントの実施などは、若年層の利用促進だけでなく、地域住民の参加を実現している点でも好ましいといえます。さらなる拡充を期待します。
- ・これから長く図書館を利用する存在である高校生・大学生を中心とした図書館プランナーの企画したイベントを実施出来たことは評価に値します。
- ・図書館プランナーが2023年度に計画・準備した成果として、2024年度に5回のイベントを実施し、若者の合意形成や利用促進活動への自信とモチベーション向上につながったことが評価されています。今後の活性化と若者のさらなる活躍への支援が期待されています。

- ・中高生向けグループ学習室「わいわいキャレル」の利用者が延べ290組724人でしたが、土日祭日のみで最大4組というのは、需要を満たしているのでしょうか。圧倒的に2人での使用が多いようなので、4組という制限を外してもよいと考えます。また、可能なら平日の16時以降の開放も検討してはいかがでしょうか。
- ・わいわいキャレルなど若者の利用が増えています。周知の方法を工夫して更なる若者の利用促進に繋がることを期待します。

- ・地域資料のデジタル化が本格的に着手され、また、市外も含め、電子書籍のウェブサイトで広く公開されていることを高く評価します。ひきつづき、コンテンツが拡充されていくことを期待します。
- ・電子書籍サービスの貸出冊数が、2023年度に比べ12.4%増加しています。中央図書館にしかできない実本の収集や貸出はもちろん重要で、こちらがおろそかになってはいけませんが、コスト面で優位な電子書籍の活用は、新たな利用者層の開拓になります。今後も充実を図っていただきたいと思います。
- ・電子書籍サービスの利用促進のためのPRも図書館以外の場所で行ったりした工夫が見られたことは評価します。

- ・財政の厳しい折、資料購入費を維持し、蔵書の充実を図っていることは評価できます。他方、コロナ禍が明けて以降、貸出点数、およびリクエスト件数が減少傾向であり、成果指標の目標に達していないことも事実です。全体では登録者数、新規登録者数が伸びていることから、図書館への関心は高いものと思われます。市民が図書館のどのサービスを利用し、または利用していないのか、ニーズが満たされているのか、満たされていないかなど、詳細な実態把握も必要であるように思われます。
- ・来館者数が経年的に微増しているなかで、貸出点数が大きく減少しており、空間の提供、電子書籍サービスなど、ひきつづき、どのような利用がなされているのかを丁寧に把握していくことが重要であるといえます。
- ・システム更改に伴う休館の影響もあり、来館者数は微減となりましたが、月平均では増加したとのこと。中央図書館ならではの蔵書数の多さや、多様なイベントの実施が功を奏した結果と評価できます。ただ、イベントの参加人数が極端に少ないものも多く実施されていますが、少なくとも実施していくという明確な目標のあるものを除いて、人的資源の効率化と照らし合わせてイベントの精選を図っていく必要もあると考えます。
- ・事業の成果について、来館者数は目標達成88%ですが、貸出点数は67%にとどまっています。電子書籍が含まれていないためとも言えますが、図書費の低さによることは明らかだと思われます。
- ・図書館の活用方法を周知するための施策については、館内の掲示スペースにポスター等を張りフルに活用している印象です。イベントも沢山開催されている印象で評価します。
- ・電子書籍サービスIDの付与やPRイベントにより貸出が増加し、休館期間があつたにもかかわらず来館者数も増加したことは評価できます。一方で、おはなし会や英語多読イベントの参加者減少が課題とされ、今後の改善が期待されます。
- ・新システム導入や施設の修繕に経費がかかる中、予算削減の状況でも図書館再編や市民との対話・検討に丁寧に取り組んでいる点が高く評価できます。
- ・5. 総括について、①②の「分析」の意味がよく分かりません。人数、実績などを掲げられても、それをどう評価すべきなのか、この記載では不明です。③④共、大雑把で、確かにそうでしょうとしか言いようがないです。2-②で「電子書籍サービス」の項目が◎になっているにも関わらず、5-③では「電子書籍サービスの認知度が低い」とされています。目標を達成しているのに、認知度は低いというのは関係性がよく分かりません。
- ・「若者からの提案」は募集の結果ですので、「その実現に向けてサポート」は募集しているのだから当然の業務と思われませんが、当然の業務も「課題」なのか疑問です。

【関連事項提言等】

- ・中長期的な取り組みとして「中央図書館の修繕」が挙げられています。利便性という点では申し分のない立地であるので、安心、安全に利用できる快適な図書館空間を目指してもらいたいです。
- ・中央図書館は駅近という絶好な立地環境にあります。街のインフラとしても重要な拠点になると考えます。開館から35年がたちますので建物の老朽化を防ぐ修繕に関する施策は重要視して欲しいと思います。予算の確保もお願いいたします。
- ・大人向けイベントの図書館活用講座と入門講座はいずれも参加者が5名だけでした。気軽に参加してもらえるように、ニーズの合った開催時期の設定や開催回数を増やすことを希望します。
- ・電子書籍サービスの認知度向上と紙の本の読む楽しさ、この両者の価値を図書館とどう捉えて、利用者にもどう伝えるかを考えて欲しいです。
- ・23年度に実施されたスマホやタブレットの相談会が24年度には行われておらず、電子書籍サービスを活用するためにも、デジタルデバイド解消に向けた取り組みを継続すべきです。検討してください。
- ・2-①で事業の課題が掲げられ、5年計画に掲げられた3項目を達成しようとすれば、図書館長の言う「資源」の少なさから、どれもあぶりはち取らずになるのは分析しなくても明白です。「資源」がないうえでの工夫はどうすればよいでしょうか。あれもこれも無理です。2022年から貸出者数、予約数とも減少しています。多様な図書館サービスで、エコたわしをつくるなどの行事は一旦身の丈ではないとあきらめて、図書館運営体制の「再構築」に集中してはどうでしょうか。それによって本来図書館の持つ力が回復すれば、その主要業務である「子ども・若者の読書活動の推進」もかつてのように復活させることができるのではないのでしょうか。それを推進できる有資格正規職員を配置し、選書・貸出・レファレンス・書架の構築を回復することで、「人件費」も削減できると考えます(事務を合理化し、企画・総務などに配置された正規を削減することで、町田市としての図書館に関わる「人件費」が削減され、その分を非正規専門職確保へと市当局と交渉する力を持つべきです)。中途半端にならざるを得ない目標の教育プランでは意味がないと思います。
- ・すべてにおいて、用語の使用(分析、課題など)が、業務上のものというより学生のレポートのように思われます。もう少し、専門性の高い高度な評価シートを作成したほうがいいのではないのでしょうか。

図書館からの報告事項

1. 町田市議会の動向

- (1) 第4回定例会（11月28日～12月23日）
図書館に関連する議案等や一般質問はなし。

2. 町田市教育委員会の動向

- (1) 第8回定例会（11月7日）
・報告「「推し本を伝えよう！ひとことPOPコンテスト2025」の開催について」

3. 各種計画（町田市5ヵ年計画22-26、公共施設再編計画、教育プラン24-28など）に基づく取組み

- (1) POPコンテスト2025図書館協議会賞の投票について【資料3】
(2) 図書館プランナーの活動報告について【資料4】
(3) FC町田ゼルビアとの包括連携協定に基づく読書活動推進の取組について【資料5】
(4) 2026年度町田市立図書館カレンダーについて【資料6】
(5) 2025年度ことばらんどショートショートコンクールについて
(6) 2025年度蔵書点検結果報告
(7) 2024年度公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果について【資料7】

4. その他

- (1) 2025年度町田市立図書館利用者アンケート総合満足度の結果について
(2) 移動図書館利用者アンケート集計結果（速報値）について
(3) 移動図書館巡回場所「馬場児童公園前」の巡回終了について
- ・最終巡回日 2025年12月18日
 - ・利用者への周知 直接近隣の巡回場所などを案内するチラシを利用者に配布したほか、図書館ホームページで周知をしました。

POP コンテスト2025 図書館協議会賞の投票について

「押し本を伝えよう！ひとことPOPコンテスト2025」の第1次審査通過10作品から、図書館協議会賞を決定するため第2次審査をお願いいたします。

別添の「第1次審査通過作品（PDF）」をご確認いただき、上位4作品を選んで下記の表にご記入の上、メールでご提出ください。委員名、作品番号、本のタイトル、選んだポイントについてもひとことお願いします。

締切り：2月18日（水曜日）までに必ず返信

委員名： _____

順位	作品番号	本のタイトル	選んだポイントをひとことお願いします
1			
2			
3			
4			

○1位は4点、2位は3点、3位は2点、4位は1点、として集計させていただきます。

○上位4作品を決定します。（同点の場合は、委員長が順位を決定します。）

○最優秀賞・優秀賞に当たらなかった、最上位の作品を図書館協議会賞とします。

〈問い合わせ先〉

担当：生涯学習部図書館

企画・地域支援係

TEL：042（728）8220

電子メール：

図書館プランナーの活動報告について

2025年度に図書館プランナー※が行った取組について報告します。

1 図書館プランナーが企画したイベント

日時・期間	イベント	参加人数
2025年6月15日	ありのままアニメ化漫画を5分で話すぜッ!! ～アニメ化漫画推し語り会!～	2
2025年7月12日	おいでよ!クトゥルフの沼	9
2025年11月18日 ～12月28日	おたのしみBook	48 (貸出冊数)
2025年12月13日	「わたしの一冊」～読書の輪を広げるビブリオバトル～	12
2025年12月21日	文庫本のカバーでオリジナルのノートをつくろう!	2



11月18日～ おたのしみBook



12月13日 ビブリオバトル

2 今後のイベント予定

日時	イベント
2026年2月22日	僕は集英社漫画語りの神となる
2026年3月7日	おいでよ!クトゥルフの沼
2026年3月22日	エコたわしをつくろう!

※自由な発想で、図書館でやってみたいことの企画・運営などを行う、15歳(中学生を除く)から25歳までのボランティア

FC町田ゼルビアとの包括連携協定に基づく読書活動推進の取組について

地域の活性化や市民サービスの向上の強化を目指し、12月12日に町田市と(株)ゼルビアが包括連携に関する協定を締結しました。その協定に基づき、図書館でも様々な読書活動推進にかかる取組をFC町田ゼルビアと共催することになりました。

1 経緯

町田市立図書館では、「町田市教育プラン24-28」に基づき、読書活動の推進に関する様々な取組を行っています。この度、(株)ゼルビアから、多くの市民を読書につなげるための図書館への来館を促進させる取組の町田市民間提案制度を活用した提案を受け、独自性や将来性のある提案であることから、これらを(株)ゼルビアとの包括連携協定に基づく新たな取組として進めることとなりました。

2 協定に基づく主な取組内容

(1) 中央図書館の館内イベント

- ・選手による本の読み聞かせ音声や映像を制作し上映
- ・選手によるおすすめ本紹介コーナーを図書館内に設置
- ・館内放送への選手の出演
- ・館内イベントの開催
- ・館内の装飾

(2) 町田市立図書館のPR活動

- ・ゼルビーの移動図書館随行
- ・ゼルビアオリジナル図書館カレンダー(A5サイズ両面)を制作し、図書館等で配布

3 実施スケジュール

2025年	12月～	館内装飾開始
2026年	2～3月	特別大会開幕イベント
	7～8月	Jリーグ開幕・夏休みイベント
	12月～2027年1月	冬休みイベント
2027年	4～5月	Jリーグラストシーズンイベント





・ゼルビアオリジナル図書館カレンダー(A5サイズ両面)



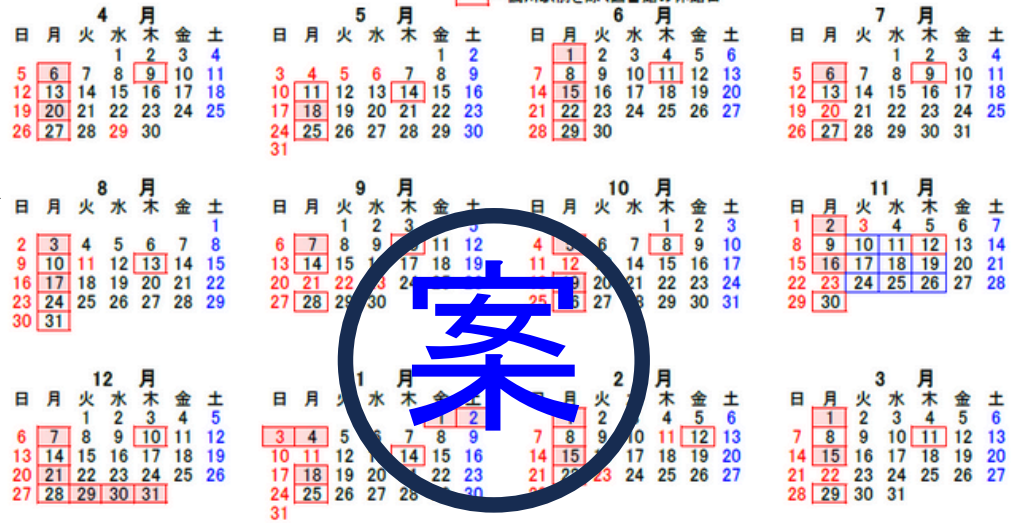
・記者会見(12/12)の様子



・町田市立中央図書館2Fエントランスの装飾(第一弾)の様子

2026年度 町田市立図書館カレンダー

□…全館休館日
□…鶴川駅前を除く図書館の休館日



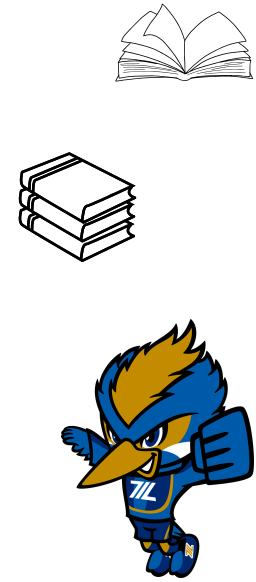
※上記以外にも、臨時休館させていただく場合があります。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

電話番号	開館時間	休館日
中央	042(728)8220 火・水・金 木・土・日 祝休日	10:00-20:00 10:00-17:00 ・月曜日 (ただし祝日に当たる場合は開館)
さるびあ 金森	042(722)3768 042(710)1717 火・水・金	10:00-18:00 ・第2木曜日 (ただし祝日に当たる場合は開館し翌日休館)
木曾山崎 堺 忠生	042(793)6767 042(774)2131 042(792)3450 木・土・日 祝休日	10:00-17:00 ・年末年始
文学館	042(739)3420	10:00-17:00 ・館内特別整理期間

蔵書点検のため、下記の期間は休館します。

- 11/9～11/12 さるびあ 忠生
- 11/16～11/19 金森 鶴川駅前
- 11/24～11/26 木曾山崎 堺

電話番号	開館時間	休館日
鶴川駅前	042(737)0263 月～金 土・日 祝休日	9:30-20:00 9:30-18:00 ・第1・第3木曜日 (ただし祝日に当たる場合は開館) ・年末年始 ・館内特別整理期間





読書マイルの貯め方

毎月、町田市立図書館に来館することで1マイル貯まるほか、図書館のイベントに参加することでマイルが貯まります。1年間で5マイル貯めると**参加賞**、8マイル貯めると**景品**をプレゼント！



景品の受け取り

受け取り期間

2026.9.1（火）から12.27（日）

受け取り場所

- ・町田市立図書館（7館※移動図書館を除く）
- ・株式会社紀伊國屋書店 小田急町田店
- ・株式会社久美堂本店／本町田店
- ・株式会社ブックファースト ルミネ町田店
- ・TSUTAYA町田木曽店

FC町田ゼルビア × 町田市立図書館

まちだ

読書マイル

案



読書を
楽しもう！

2026.4.1 - 12.27

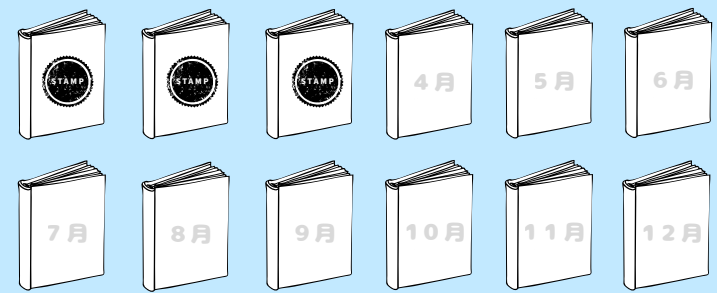


FC町田ゼルビアはJ1リーグ所属の町田市ホームタウンチームです。



HPはこち5

マイル欄



EVENT

イベントに参加してもマイルが貯められるよ！



スタッフ確認欄



その他詳細は町田市立図書館ホームページへ！

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市立鶴川駅前図書館		
施設概要	<p>【所在地】町田市能ヶ谷1丁目2番1号 【開館年月】2012年10月 月曜日～日曜日(第1・第3月曜日を除く(第1・第3月曜日が祝日の場合は開館)。年末年始は 【開館日時】休館)／午前9時30分～午後8時(月曜日～金曜日)、午前9時30分～午後6時(土曜日、日曜日、祝日)</p> <p>【施設面積】1,332.07㎡ 【建物構造】鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造り 地上4階地下2階の2階部分 館内フロア各コーナー(一般書、文学、暮らし、児童、ヤングアダルト、地域資料、雑誌、新 【施設内容】聞、洋書)、予約受取コーナー、おはなしのへや、サービスカウンター、書庫、対面朗読室、ト イレ(男子・女子・みんな)、ブックポスト等</p> <p>【蔵書数】一般書:93,373冊 児童書:27,857冊 合計121,230冊(2024年度)</p>		
設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するため。		
設置根拠法令・条例	図書館法、町田市立図書館条例		
所管部課	教育委員会生涯学習部図書館	問合せ先	042-728-8220
施設ホームページURL	https://www.library-machida.tokyo.jp/		

(2)指定管理者

指定管理者名	株式会社久美堂、株式会社ヴィアックス ＜久美堂・ヴィアックス共同事業体＞	法人番号	なし
指定管理者所在地	(代表企業 株式会社久美堂)町田市原町田6-11-10		
指定期間	2022年4月1日～2027年3月31日		
指定管理業務の内容	<p>(1)図書館資料の収集、整理及び保存等 (2)個人貸出し、団体貸出し、及び閲覧等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、教育委員会が指定した業務・・・教育委員会への報告業務、利用者アンケートの実施等</p>		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 併用 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
利用者満足度(全体満足度) 82%以上	毎年度	満足・やや満足を合計して97.1%を達成した。
立地特性を活かしたコラボレーション特集等事業の実施 年間24回以上	毎年度	他団体とのコラボレーション特集等事業を年間54回実施した。
利用促進のための広報、周辺施設と連携したPR活動年間4回以上	毎年度	町田市社会福祉協議会などからの「鶴川駅前図書館だより」寄稿や和光大学ポプリホール鶴川の公式Xからの情報発信など、団体と連携したPR活動を年間33回実施した。

3. 昨年度の課題

内容	市民に親しまれ喜ばれる図書館であるために、地域の団体との連携など、現在の達成状況を維持しながら、利用者の利便性向上、サービスの質向上、貸出点数向上に向けて取り組むこと。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
<p>所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)</p>		<p>【選定時の提案内容の実現】 各項目で目標値を上回り達成している。特にコラボレーション特集等事業については、地域の団体と連携した事業を積極的に実施しており、高く評価できる。</p> <p>【昨年度の課題への対応】 2023年度に続き、書店ならではの出版社と連携した「クイズ大会」や「紙芝居講座」のほか、図書館内を巡りながら、テーマに沿った本を探して借りてもらうことを目的としたイベントを実施した。 また、地域の団体とコラボレーションした特集や展示を実施したほか、貸出点数を増やすための企画特集「貸出推進キャンペーン」の実施、資料の配置場所の変更や面出しにして配架するなどの取り組みを行った。 図書館システム更改に伴う約1ヵ月間の休館の影響もあり、年間での貸出点数の目標には至らなかったものの、来館者数は大幅に増加した。</p> <p>【特に評価すべき取り組み】 2023年度に続き、地域の団体との連携に力を入れており、新たに9団体と連携した事業も積極的に展開した。 指定管理者からの提案で2023年5月から開始した、久美堂本町田店での図書資料の予約受渡しサービスは、2024年度で9,100点を越える資料の貸出があり、2023年度と比較して約2,600点貸出が増加した。 また、日々の業務技術だけでなく、接客などのスキル向上や危機管理への対応など、多種類の研修を受講することで、職員1人1人がスキルアップする機会を多く設けた。 職員研修やイベント等を継続して実施した結果、図書館システム更改に伴う休館にも関わらず、来館者数は2023年度から約36,000人増え、2026年度の目標値(370,310人)も上回り、大幅な来館者増につながった。</p> <p>【来年度に向けた課題】 地域の書店が管理運営している利点を活かして、市民に親しまれ喜ばれる図書館であるために、地域の団体との連携など、現在の達成状況を維持しながら、利用者の利便性向上、サービスの質向上、貸出点数向上に向けて取り組むこと。</p>
<p>指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)</p>		<p>◎職員の安定と来館者の増加 指定管理期間3年が経過し、職員は日々の業務に習熟し、着実に遂行している。中でも接客は親切丁寧に行っており、日頃の声や利用者アンケート等からご好評をいただいている。館内には温かく優しい雰囲気があり、来館者数は2023年度よりも増加した。図書館システム更改の休館期間には、職員が見識を高めるため市内外の図書館や施設を見学、危機管理研修として救命講習も受講した。</p> <p>◎バリアフリー施策の推進 2024年度も職員向け「認知症サポーター養成講座」を受講し、新入職員は新たに認知症サポーターとなり、既受講者は知識をブラッシュアップすることができた。さらに、わかりやすい表現を学ぶ「やさしい日本語ワークショップ」(講師:町田やさしい日本語の会)も研修に導入した。 また、認知症に関連する書籍を集めたDボックスコーナーを拡張し、専用の棚を設けた。 さらには、「フライヤー」サービスに関して、音声再生の利用件数が2024年度で280件あり、2023年度の利用件数が106件であった。比べると約3倍となっており、今後、バリアフリーツールとして活用していく可能性を見出すことができた。</p> <p>◎創意工夫した子ども向けイベントの実施 出版社と連携した「クイズ大会」、「当館オリジナルキャラクター誕生2周年イベント」など、子どもが楽しめるイベントを季節ごとに実施した。初の試みとして、ポプリホールの人形劇イベントと連携した「ブックトーク」、久美堂本町田店での「出張おはなし会」、出版社の専門家を講師にお招きして「紙芝居講座」を開催した。</p> <p>◎貸出点数の増加への対応 引き続き、市や地域団体とコラボした特集や展示、子ども対象の貸出促進イベントなどを行った。加えて、カウンター前に「貸出推進キャンペーン」の棚を設置した。特集に関心をもていただくために、人通りの多い「今日返ってきた本コーナー」に特集の資料を抜粋して設置した。2024年度後半は、特集テーマに関連した資料の貸出が好調だった。その結果、特集用に設置した資料点数を実際の貸出点数が上回るケースが多くみられた。しかし、全体の貸出点数は目標(2019年度比109%)に至らなかった。なお、久美堂本町田店での図書資料の予約受渡しサービスの2024年度の貸出点数は9,112点の実績であった(2023年度6,519点)。</p> <p>◎地域連携の積極的な展開 これまでの連携先(和光大学ポプリホール鶴川、鶴川地区協議会、FC町田ゼルビア、和光大学等)との関係は引き続き良好で、発展的に事業を展開することができた。新たに、保健予防課・ごみ収集課・生涯学習総務課、鶴川落語会、町田市社会福祉協議会、鶴川香山園、つるぼん等とも連携することができた。年間で特集コーナーを145回、展示コーナーを14回、設置した(内、コラボ特集は41回、コラボ展示は13回)。</p>

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】	2024年11月26日～11月30日
	【配布枚数】	430枚
	【回収枚数】	430枚
	【回収率】	100%
	【調査方法】	アンケート用紙手渡し（回収箱で回収）

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (総合満足度の項目において満足・やや満足とつけた利用者の割合)	A: 80%以上 B: 60%以上～80%未満 C: 60%未満	82%	97.1%	A	
指定期間内における実績（単位：％）					
年度	2022	2023	2024	2025	2026
目標値	82	82	82	82	82
実績値	97.4	95.4	97.1		

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
来館者数 基準値 307,459人 (2019年度実績)	A: 292,087人(95%)以上 B: 245,968人(80%)以上 292,087人(95%)未満 C: 245,968人(80%)未満 ※()は基準値との比較(%)	349,647人 (114%)	390,270人 (127.0%)	A	
指定期間内における実績（単位：人）					
年度	2022	2023	2024	2025	2026
目標値	330,137 (107%)	339,752 (111%)	349,647 (114%)	359,830 (117%)	370,310 (120%)
実績値	350,194 (113.9%)	353,399 (114.9%)	390,270 (127.0%)		

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
貸出点数 (図書・雑誌・紙芝居・視聴覚資料等) 基準値 463,064点 (2019年度実績)	A: 439,911点(95%)以上 B: 370,452点(80%)以上 439,911点(95%)未満 C: 370,452点(80%)未満 ※()は基準値との比較(%)	504,926点 (109%)	391,689点 (84.6%)	B	
指定期間内における実績（単位：点）					
年度	2022	2023	2024	2025	2026
目標値	485,128 (105%)	494,928 (107%)	504,926 (109%)	515,125 (111%)	525,530 (113%)
実績値	439,047 (94.8%)	429,263 (92.7%)	391,689 (84.6%)		

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	「利用者満足度(総合満足度)」は、目標値を達成した。 「来館者数」は、図書館システム更改に伴う休館の影響はあったが、目標値を達成した。 「貸出点数」は、貸出を推進するための企画特集や資料の配置場所の変更・面出しにして配架するなど、貸出点数を増やすための取り組みを実施したが、目標値に達しなかった。 町田市立図書館全体で減少傾向にあり、図書館システム更改に伴う休館も影響していると推測される。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	障がい者に対するの合理的配慮	実践的な講座や研修の実施 図書館における障がい者向けサービスの紹介を行っている	「障害者サービス担当職員向け講座」をオンラインで受講したことを事業報告書で確認した。 また、リーディングトラックを利用券無しで利用できることやアクセシブルライブラリーなどの障がい者向けサービスの紹介ポスター、車椅子専用席があることを周知するためのポスターを館内に掲示していることを現地調査で確認した。	適
	高齢者に対するの配慮	補助器具等の案内を行っている 認知症サポーターの養成	「認知症サポーター養成講座」を受講し、職員全員が認知症サポーターになっていることを事業報告書で確認した。また、拡大鏡などの補助器具の貸出や貸出案内を館内に掲示していることを現地調査で確認した。	適
	子どもの読書活動の推進	「子どもの読書活動の推進に関する法律」に沿った具体的なサービスの創出	子ども向けおはなし会のほか、季節ごとに本に親しむイベントを実施していること、また、新たな取り組みとして、和光大学ポプリホール鶴川の人形劇イベントと連携した「ブックトーク」を実施したことを事業報告書で確認した。	適
施設の運営方針・管理方針	地域の構成員としての地域連携	鶴川地区協議会等と連携している	鶴川地区協議会主催「3水スマイルラウンジ」にて、連携した資料展示や図書館のリサイクル資料提供を毎月実施していること、また、町田市社会福祉協議会とも展示で連携したことを事業報告書で確認した。	適
	特性を活かしたサービス展開	地域資料コーナー・英語多読コーナー等を拡充し、利用を促進している 近隣大学等への出張登録会の実施	地域資料コーナー内にあるゼルビアコーナーを拡充したことを事業報告書で確認した。また、地元ゆかりの作者の文学コーナーを常設して、貸出を促進していることをヒアリングで確認した。 大学への出張登録会は、実施にむけて和光大学の担当者と日程調整をしたところ、新入生入学時に合わせ、2025年4月に実施することになったことを事業報告書で確認した。	適
	民間事業者の新たな事業	民間の特性を活かした新たなサービスを実施している	出版社と連携した「クイズ大会及び撮影会」、「紙芝居講座」や久美堂本町田店での出張おはなし会(絵本読み聞かせ)を実施したことを、事業報告書で確認した。	適
情報公開・個人情報保護	情報の適正管理	情報セキュリティや個人情報の保護に関する適切な体制の整備と、その体制に沿った取り組みが行われている	「個人情報保護研修」を職員全員が受講していることを事業報告書で確認した。また、指定管理者独自の個人情報保護モニタリング及びヒアリングを実施しており、指摘事項が無いことを図書館用内部監査チェックリスト及びヒアリングで確認した。	適
	公的な資格	公的な資格の承認を受けている	「プライバシーマーク」取得企業であることを、日本情報経済社会推進協会のホームページ上で確認した。	適
要望対応	意見要望の把握	利用者からの要望等を把握するための組織的な方策を実行している	「利用者の声」ポストを設置し、意見要望の有無を毎日確認していることを現地調査及び業務日誌で確認した。 また、イベント開催時には、参加者にアンケートで意見聴取をしており、職員全員に内容を共有していることをアンケート結果及びヒアリングで確認した。	適
	利用マナー向上・啓発	マナーブックの配布	全利用者を対象とした、啓発マナーブックを配布しているほか、館内にも利用に関するパネル掲示やマナーアップとして、図書館の利用マナーをクイズ形式で学ぶ取り組みも実施したことを事業報告書で確認した。	適
危機管理	事故や非常事態への備え	非常事態対応マニュアル(危機管理マニュアル等)の作成 施設全体の災害訓練等への参加	危機管理への対応例が掲載された危機管理対策マニュアルが作成・適宜改訂されていることを最新版のマニュアルで確認した。 また、施設全体の防災訓練にも参加していることや訓練に参加出来なかった職員にも共有していることを事業報告書で確認した。	適
	保険の加入	傷害保険や施設賠償責任保険等に加入し、事故処理等適切に対応している	施設賠償責任保険に加入していることを証書で確認した。また、2024年度も事故がないことをヒアリングで確認した。	適

人的安定性	専門性の担保	有資格者や責任者を適切に配置している	開館時間中は司書または司書補資格を有する職員が2名以上勤務し責任者または副責任者および専門員が1名以上、適切に配置されていることを業務日誌で確認した。また職員24名中、18名が司書資格を有していることを確認した。	適
	雇用の安定性	職務能力等に対応した適正な給与体系が整っている雇用の定着に努めている	職務に応じた給与体系であることを雇用契約書、雇用条件変更通知書、給与規程で確認した。また、雇用の定着に向けて、1年目は有期雇用とし、2年目からは無期雇用に転換する取り組みを実施していることをヒアリングで確認した。	適
	研修等	技術向上、自己啓発等の研修・研鑽を組織的に実施している	職員は年間を通して、技術向上のための研修を受講し、研修内容を他の職員にも共有していることを事業報告書及び研修報告書で確認した。	適
管理経費の縮減	事業実施時の費用の軽減	民間業者の特性を活かして、経費節減に努めている	イベントのチラシやポスターは外注せず、構成企業で作成・印刷し、経費を抑えていることをヒアリングで確認した。	適
	光熱水費・施設の維持管理費	開館日拡大したことに伴う維持経費の増加を抑えている	電気使用量は2023年度と比べて、約2%減っていることを、施設のエネルギー使用量を管理するクラウドシステムにて確認した。	適
地元貢献	市民雇用	地域住民を積極的に採用している	職員24名中、7名が町田市在住であることを職員名簿及びヒアリングで確認した。	適
	市内事業者	市内業者から優先して調達している	市内事業者から消耗品や雑誌等を購入しており、優先して調達していることを請求書及び納品書で確認した。	適
	地域との連携	地域団体や近隣の大学・学校と連携した事業を実施している	和光大学のゼミと「児童虐待防止月間」のコラボ特集を実施したほか、大蔵小学校などの図書館見学、鶴川中学校などからの職場体験、鶴川第二小学校と連携した「おススメ本紹介カード」展示などを実施したことを事業報告書で確認した。	適
	ボランティアとの協働	ボランティア交流会・ボランティア養成講座を実施している	ボランティアとは適宜、交流会を実施していること、また、技術向上のため、指定管理者からレクチャーやアドバイスを実施していることをおはなし会記録簿及びヒアリングで確認した。また、出版社と連携した「紙芝居講座」を実施したことを事業報告書で確認した。	適
図書館運営	選書・蔵書の管理	書架整理を常に行い、適切な状態を維持している蔵書の有効活用に努めている	館内巡回表を作成し、書架整理や書架状況の把握に努めていること。常設の特集コーナーを1箇所増やし、11箇所設置していること。また、利用者が使いやすいように書架の配置場所の変更を行ったことを事業報告書で確認した。	適

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2025年2月17日に会計・経理モニタリングを実施し、全ての項目が「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2025年2月17日に労働条件モニタリングを実施し、全ての項目が「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、事業報告書、各種帳票及びヒアリングで確認した。

【評価対象年度 2024年度】

【資料7】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

年度 項目		2022			2023			2024		
		予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算
収入	指定管理料	86,313	88,129	88,129	87,130	88,330	88,330	88,074	89,254	89,254
	自主事									
	複写料金	110	110	38	110	54	50	110	54	51
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	86,423	88,239	88,167	87,240	88,384	88,380	88,184	89,308	89,305
支出	人件費	80,574	79,764	79,765	81,506	80,677	80,677	82,450	81,601	81,602
	事務費	595	915	1,842	595	760	1,050	595	760	876
	管理費	3,839	3,403	3,660	3,854	4,531	3,446	3,854	4,531	3,471
	事業費	1,305	2,781	2,683	1,175	2,362	2,166	1,175	2,362	2,250
	自主事									
	複写料金		60	136	60	150	149	60	150	149
	その他	400	400	135	400	300	274	400	400	382
	計	86,713	87,323	88,221	87,590	88,780	87,762	88,534	89,804	88,730
総計(収入-支出)		-290	916	-54	-350	-396	618	-350	-496	575

年度 項目		2025			2026		
		予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算
収入	指定管理料	89,028			89,994		
	自主事						
	複写料金	110			110		
	その他	0			0		
	計	89,138			90,104		
支出	人件費	83,404			84,370		
	事務費	595			595		
	管理費	3,854			3,854		
	事業費	1,175			1,175		
	自主事						
	複写料金	60			60		
その他	400			400			
	計	89,488			90,454		
総計(収入-支出)		-350	0	0	-350	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2022	2023	2024	2025	2026
経常利益率	-0.9	0.3	0.1		
負債比率	15.0	14.2	12.4		

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	2023年度に続き、光熱水費などの高騰に対応するため、指定管理料を増額した。指定管理事業の財務収支については黒字であり、指定管理者本部の財務収支についても問題なく、施設を安定的に運営することができていた。

2025年度 町田市立図書館利用者アンケート総合満足度結果

調査期間

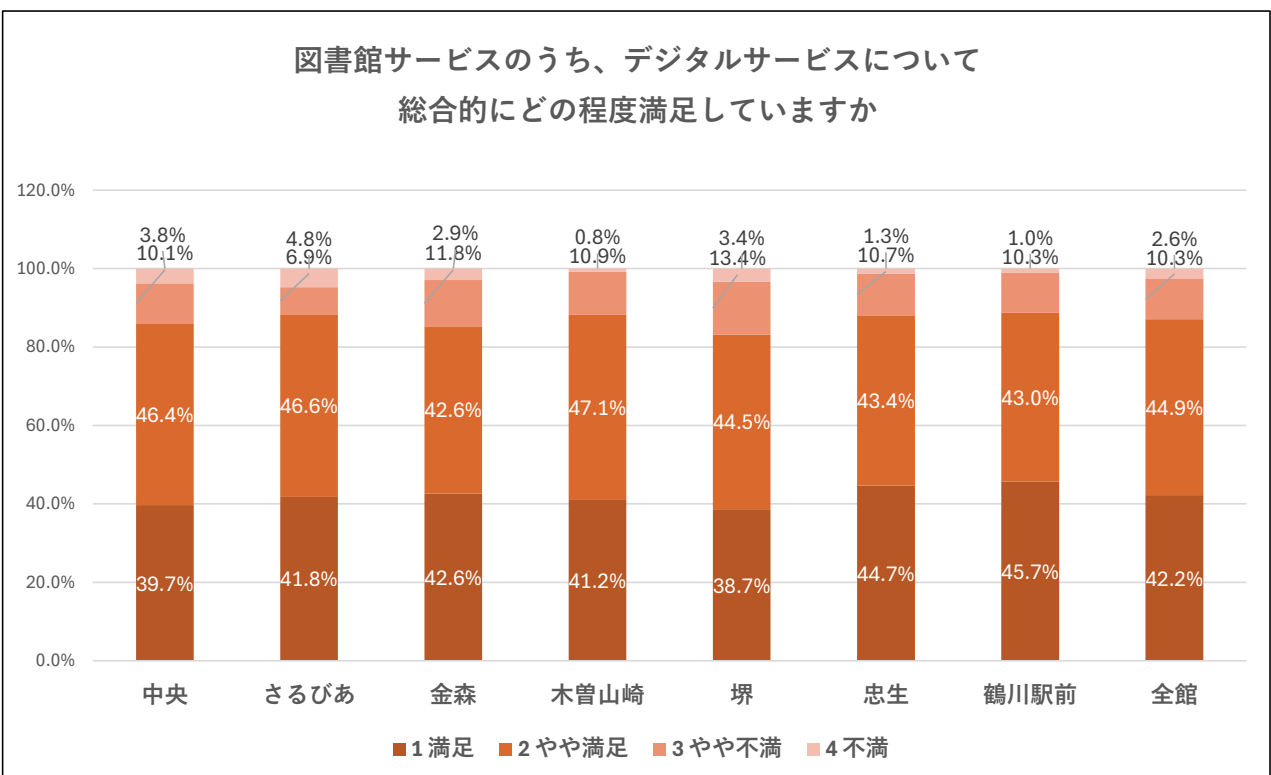
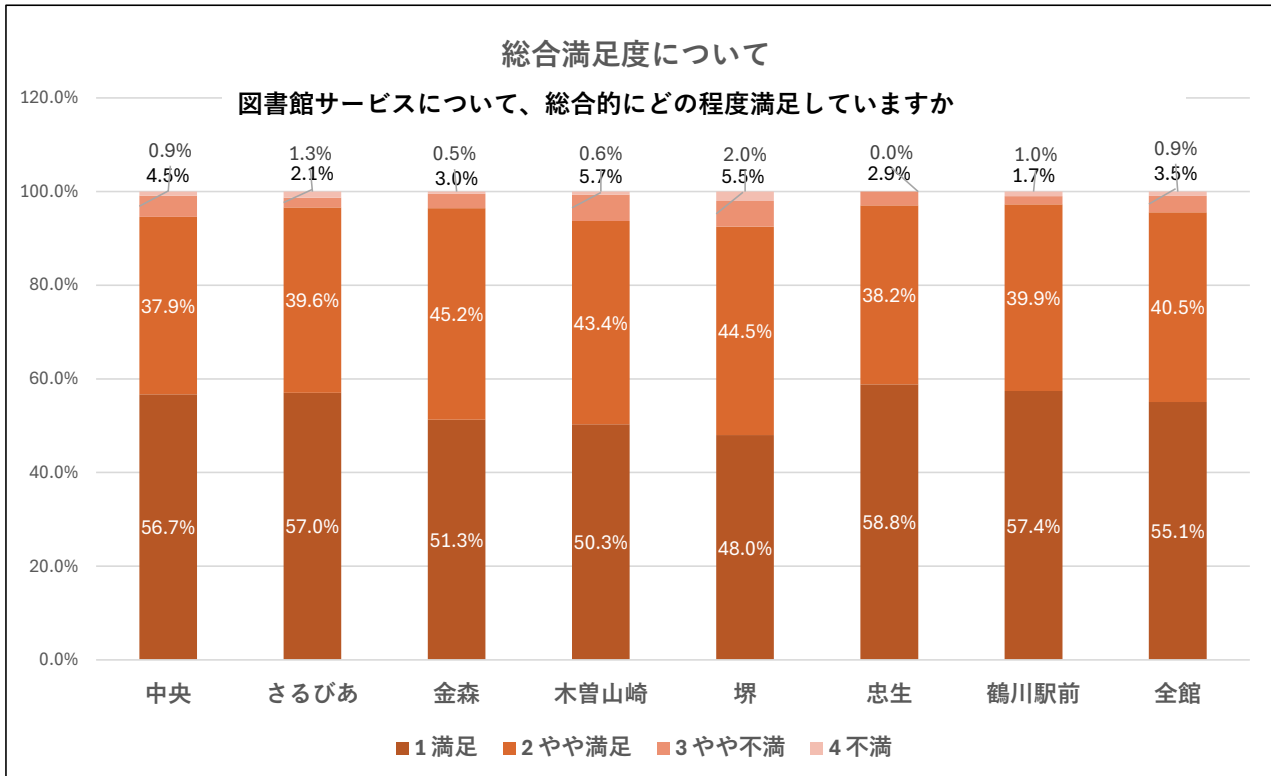
2025年12月2日（火）～12月7日（日）

1 アンケートの回答件数（回答者数）

中央	さるびあ	金森	木曾山崎	堺	忠生	鶴川駅前	全館合計
483件	247件	206件	180件	211件	211件	428件	1,966件

2 総合満足度の結果（回答割合）

※無回答除く



町田市立図書館利用者アンケート

本日、利用した図書館についてお答えください。

I 図書館の利用について

1. 来館目的について、当てはまるものをすべて選び○をつけてください。

- 1 貸出・返却 2 閲覧 3 パソコンの利用 4 Wi-Fiの利用
 5 学び・趣味・生涯学習の調べもの 6 仕事上の調べもの 7 学校の勉強の調べもの
 8 予約・リクエスト 9 その他（ ）

2. 本日の主な来館方法を教えてください。当てはまるものを1つ選び○をつけてください。

- 1 公共交通機関（電車・バス） 2 自動車・バイク 3 自転車 4 徒歩

3. 日頃の利用頻度について、最も当てはまるものを1つ選び○をつけてください。

- 1 ほぼ毎日 2 週に1回～3回 3 月に1回～3回 4 年に数回 5 はじめて

4. 日頃の図書館での滞在時間について、最も当てはまるものを1つ選び○をつけてください。

- 1 30分未満 2 1時間未満 3 2時間未満 4 4時間未満 5 4時間以上

5. 次の(1)～(4)について、それぞれ当てはまるものを1つ選び○をつけてください。

(1)図書館職員の対応

- 1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満
 （満足または不満の理由： ）

(2)蔵書（資料）の充実度

- 1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満
 （満足または不満の理由： ）

(3)館内の案内表示の分かりやすさ

- 1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満
 （満足または不満の理由： ）

(4)開館日・開館時間について

- 1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満
 （満足または不満の理由： ）

6. 図書館は学びや課題解決に役立っていると感じていますか。最も当てはまるものを1つ選び○をつけてください。

- 1 感じている 2 やや感じている 3 あまり感じていない 4 感じていない

II 企画事業（企画展示・イベント等）について

1. 企画展示（本の特集コーナー等）について、当てはまるものを1つ選び○をつけてください。

(1)企画展示をご覧になったことはありますか。

- 1 ある 2 ない

⇒「2 ない」を選択した方は「2. 図書館主催のイベント（おはなし会、後援会等）について」へお進みください。

アンケートは次ページに続きます

(2)企画展示をご覧になった方にお聞きします。内容はいかがでしたか。

- 1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満

(満足または不満の理由：)

2. 図書館主催のイベント（おはなし会、講演会等）について、当てはまるものを1つ選び○をつけてください。

(1)図書館でおはなし会や講演会等のイベントを開催していることを知っていましたか。

- 1 知っていた 2 知らなかった

(2)図書館で開催された、おはなし会や講演会等のイベントに参加したことがありますか。

- 1 参加したことがある 2 参加したことがない

⇒「2 参加したことがない」を選択した方は「Ⅲ 図書館のデジタルサービスについて」へお進みください。

(3)イベントに参加したことがある方にお聞きします。内容はいかがでしたか。

- 1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満

(満足または不満の理由：)

※よろしければ、過去に参加されたイベント名をご記入ください。

()

Ⅲ 図書館のデジタルサービスについて

下記の①から⑪の図書館のデジタルサービスについて、お聞きします。

1. 下記の図書館サービスについて、知っているものをすべて選び○をつけてください。

- ①電子書籍サービス ②電子書籍サービス内の「町田資料」（過去の「広報まちだ」など）
③オンライン登録・更新 ④LINE連携 ⑤フリーWi-Fi ⑥セルフ貸出・返却
⑦セルフ予約本受取コーナー ⑧デジタル利用券 ⑨蔵書探索AI ⑩web書棚
⑪館内ストリートビュー ⑫どれも知らない

⇒「⑫どれも知らない」を選択した方は「Ⅳ 総合満足度について」へお進みください。

2. 下記の図書館サービスについて、利用したことがあるものをすべて選び○をつけてください。

- ①電子書籍サービス ②電子書籍サービス内の「町田資料」（過去の「広報まちだ」など）
③オンライン登録・更新 ④LINE連携 ⑤フリーWi-Fi ⑥セルフ貸出・返却
⑦セルフ予約本受取コーナー ⑧デジタル利用券 ⑨蔵書探索AI ⑩web書棚
⑪館内ストリートビュー ⑫どれも利用したことがない

⇒「①電子書籍サービス」に○をつけなかった方は「Ⅳ 総合満足度について」へお進みください。

3. 上記の問2. で、「①電子書籍サービス」に○をつけた方にお聞きします。

利用してみていかがでしたか。

- 1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満

(満足または不満の理由：)

アンケートは次ページに続きます

Ⅳ 総合満足度について

1. 図書館サービスについて、総合的にどの程度満足していますか。

- 1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満

(満足または不満の理由：)

2. 図書館サービスのうち、デジタルサービスについて、総合的にどの程度満足していますか。

※デジタルサービスとは、前ページ「Ⅲ 図書館のデジタルサービスについて」の「①から⑪の図書館のデジタルサービス」です。

- 1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満

(満足または不満の理由：)

Ⅴ 回答者ご自身について

1. あなたの居住する地域について、当てはまるものを1つ選び○をつけてください。

- 1 町田市内 2 市外

2. あなたの年齢について、当てはまるものを1つ選び○をつけてください。

- 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代 6 60代 7 70代以上

3. あなたの職業について、当てはまるものを1つ選び○をつけてください。

- 1 自営業 2 勤めている 3 学生 4 主婦・主夫 5 無職 6 その他()

Ⅵ 図書館へのご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

いただいたご意見・ご要望は、今後のサービス向上のために役立ててまいります。

2025年度 移動図書館利用者アンケート集計結果（速報値）

1 実施目的

- ・移動図書館の利用状況を調査し、今後の運行改善の参考にするため

2 実施期間

- ・2025年10月28日（火）～11月21日（金）

3 実施場所・回数

- ・定期巡回場所 合計59カ所（堺図書館発／22カ所、さるびあ図書館発／37カ所）
- ・各定期巡回場所につき2回実施

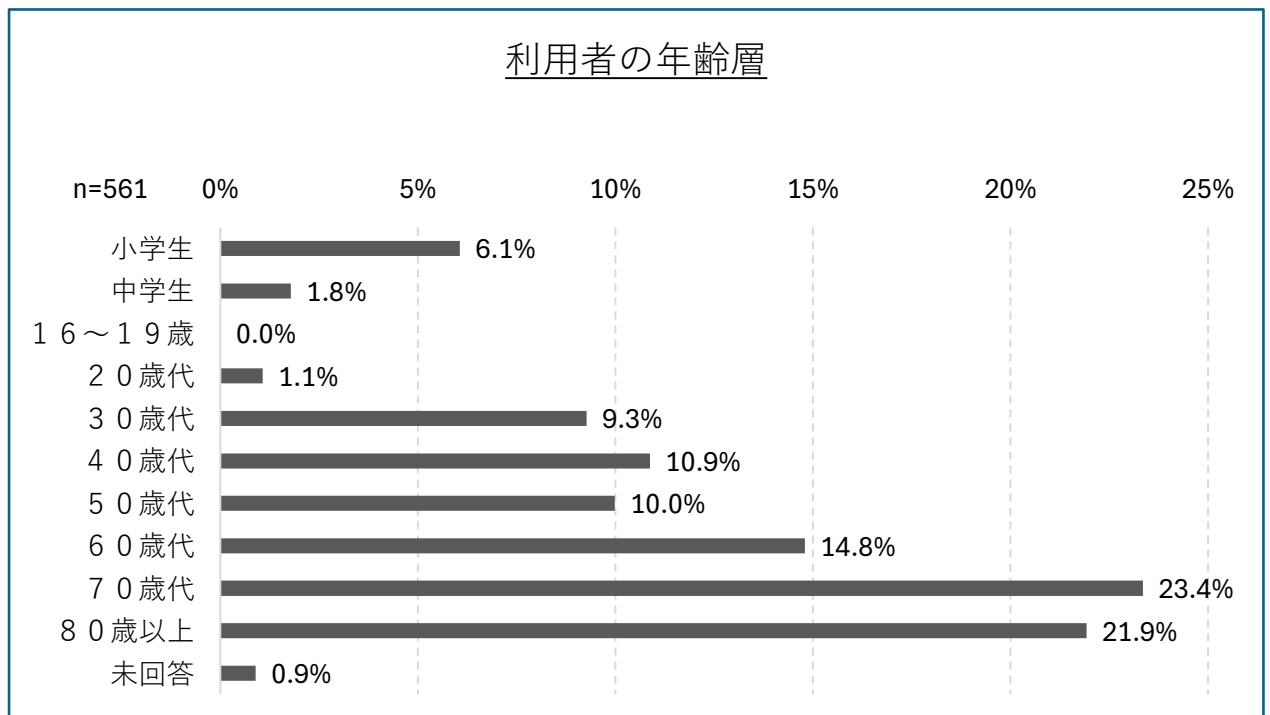
4 回答数

- ・合計561件（堺図書館発／187件、さるびあ図書館発／374件）

5 移動図書館利用者アンケート調査票

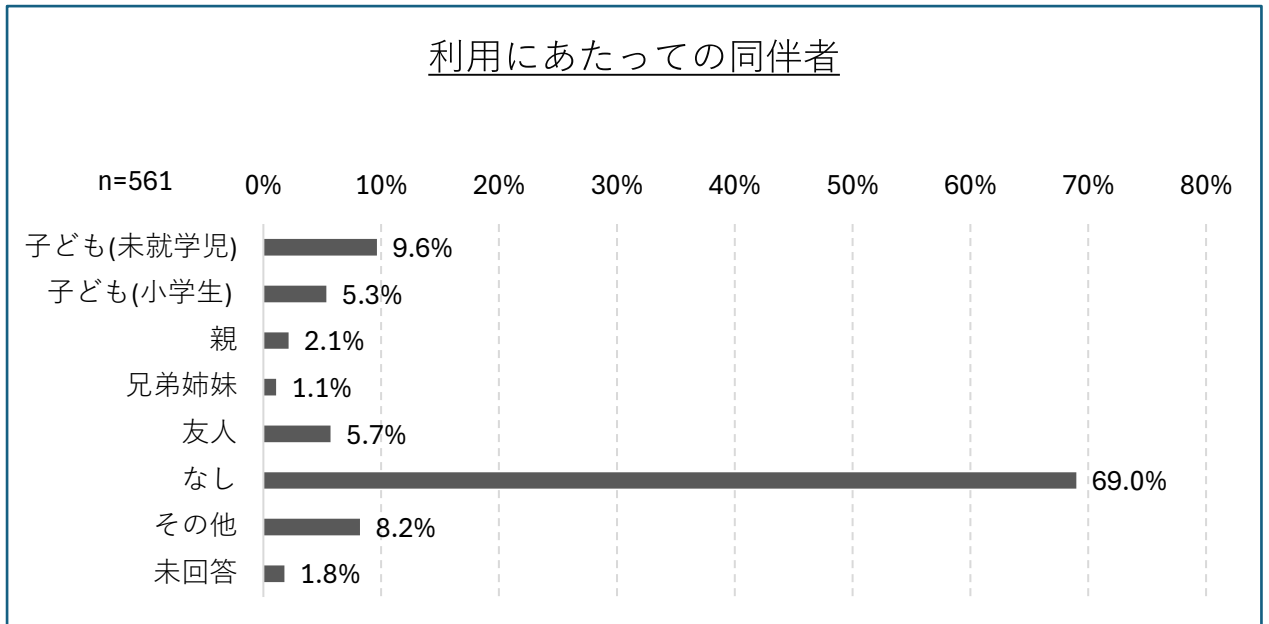
6 集計結果（自由記載を除く）

■問1：ご年齢について教えてください。（○は1つ）



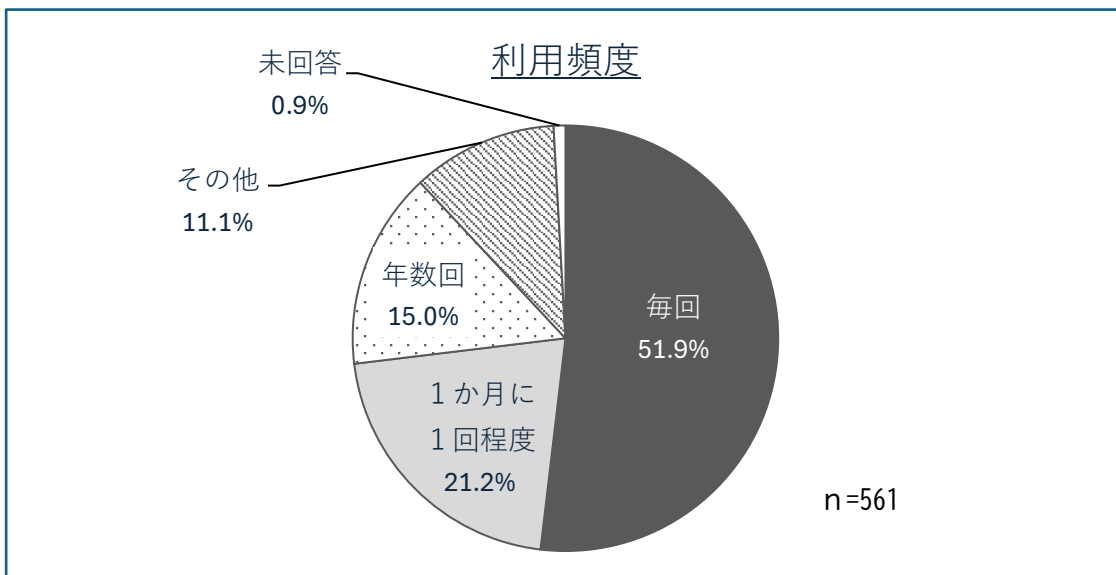
- ・「70歳代」が最も高く23.4%、次いで「80歳以上」が21.9%、「60歳代」が14.8%となっています。

■問2：本日はどなたと一緒にお越しですか。(○はいくつでも)
 ※複数回答のため、合計は100%を超えます。



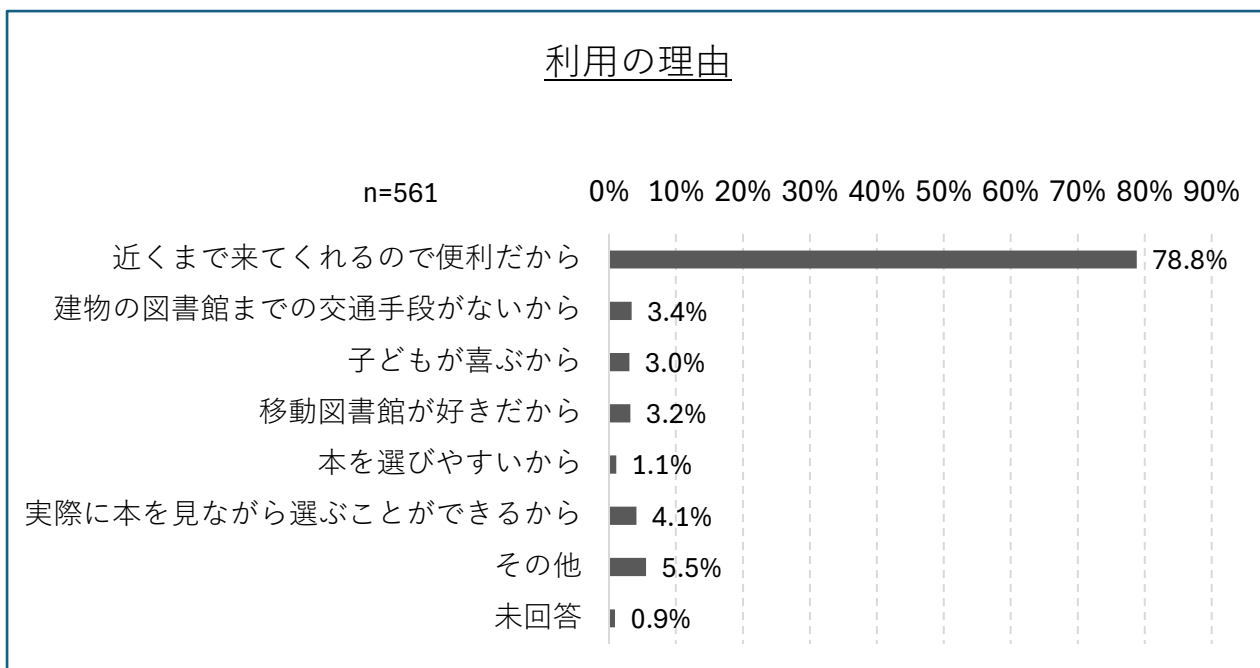
・「なし」(ひとり) が最も高く69.0%、次いで「子ども(未就学児)」が9.6%となっています。

■問3：移動図書館をどのくらいの頻度でご利用されていますか。(○は1つ)



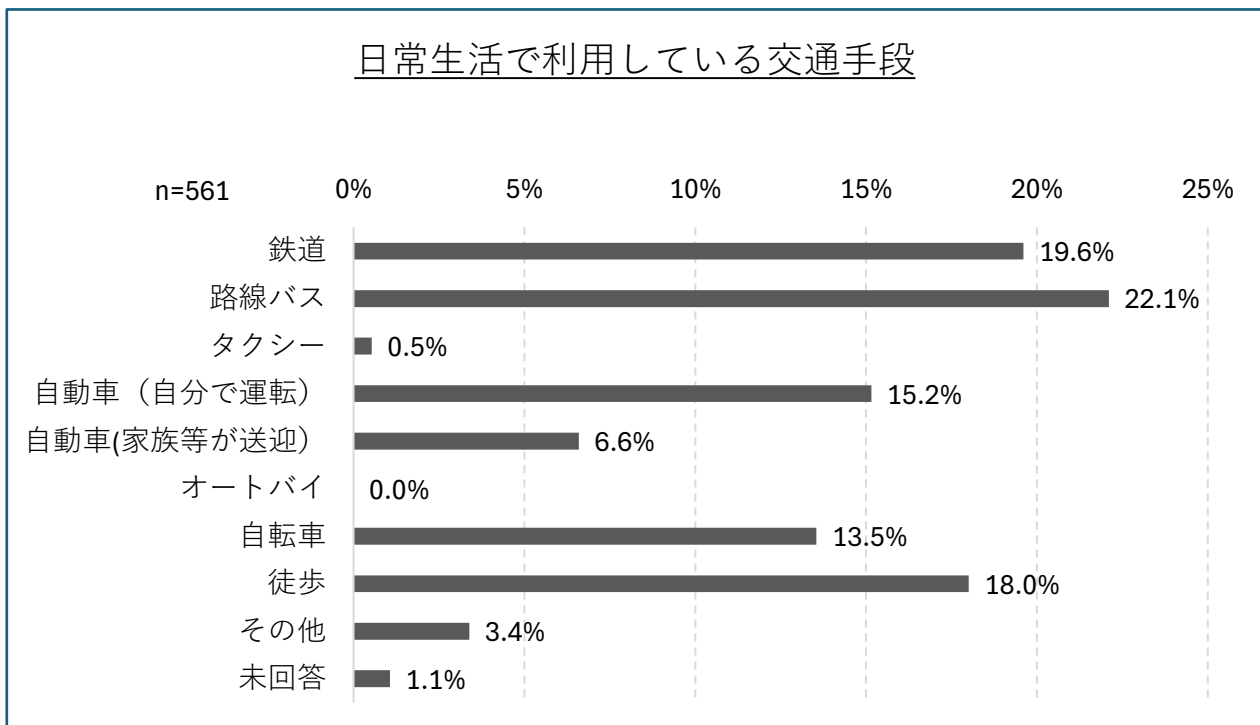
・「毎回」が最も高く51.9%、次いで「1か月に1回程度」(2回に1回)が21.2%となっています。

■問4：移動図書館をご利用される主な理由を教えてください。(○は1つ)



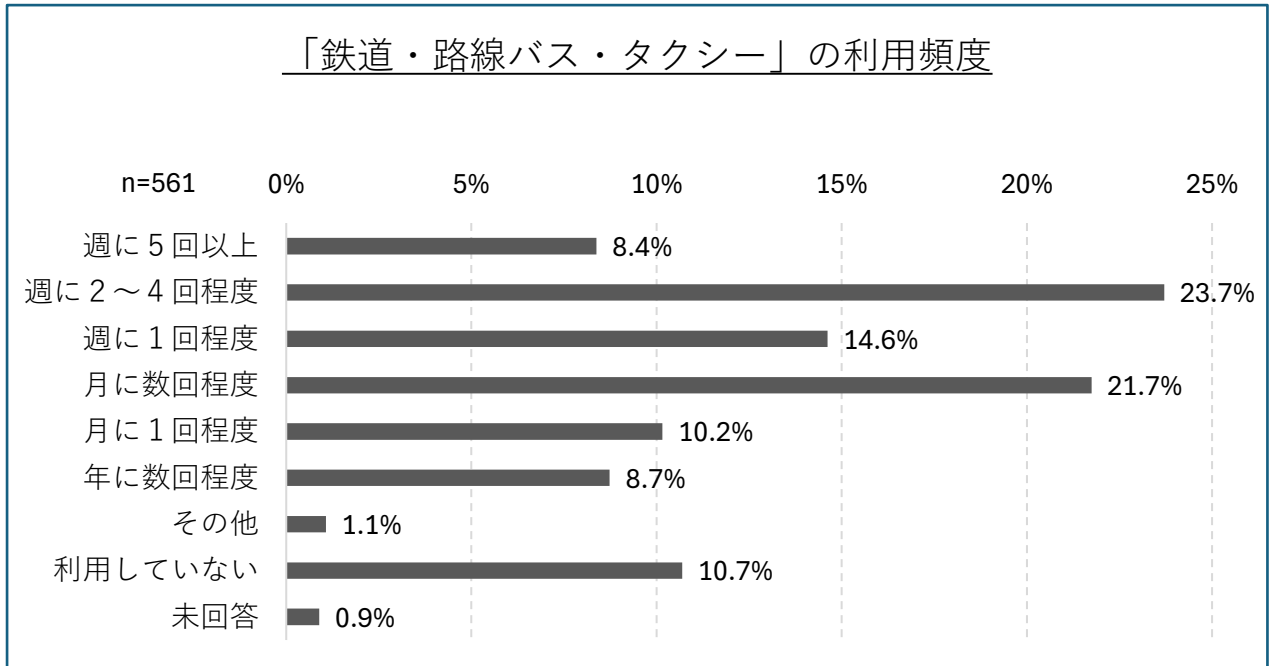
・「近くまで来てくれるので便利だから」が最も高く78.8%となっています。

■問5：日常生活で主に利用される交通手段は何ですか。(○は1つ)



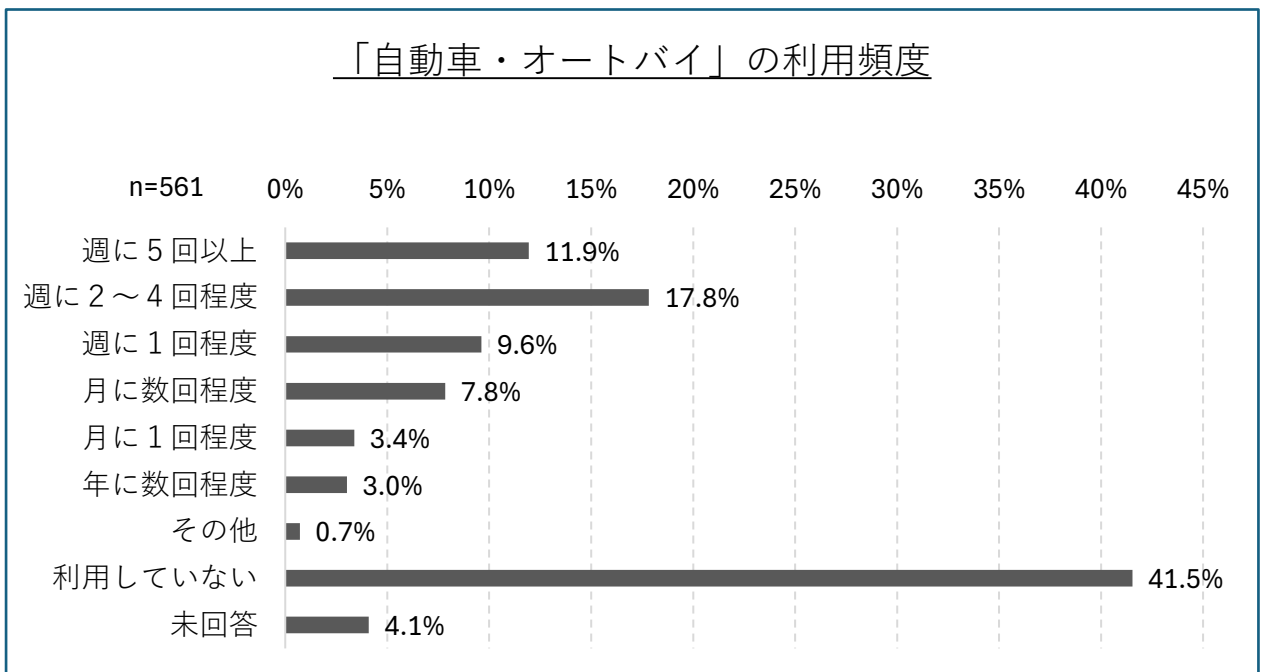
- ・「路線バス」が最も高く22.1%、次いで「鉄道」が19.6%となっています。
- ・「自動車」は、「自分で運転」と「家族等が送迎」を合わせると21.8%となっています。
- ・「徒歩」が18.0%となっています。

■問6：日常生活で利用される交通手段の中で、鉄道、路線バスおよびタクシーをどのくらいの頻度でご利用されていますか。(○は1つ)



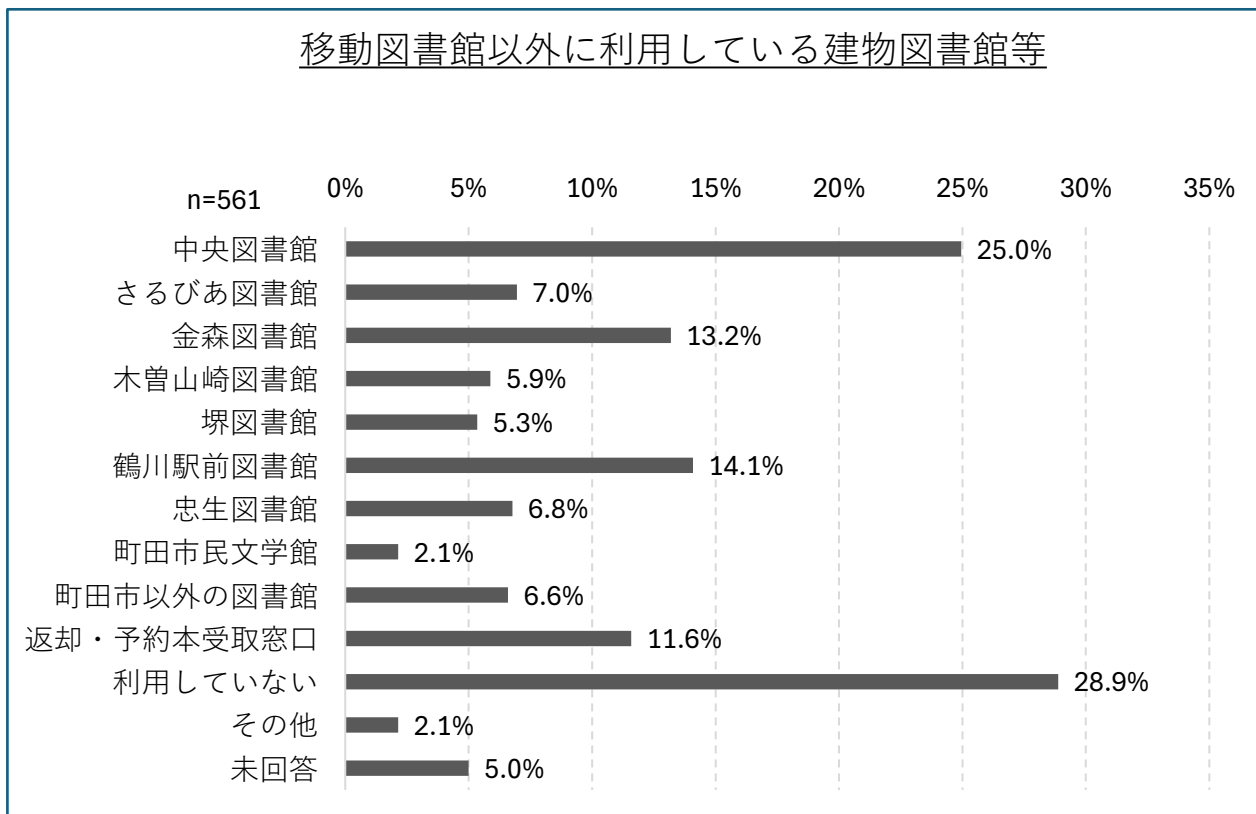
・「週に2～4回程度」が最も高く23.7%、次いで「月に数回程度」が21.7%、「週に1回程度」が14.6%となっています。

■問7：日常生活で利用される交通手段の中で、自動車やオートバイをどのくらいの頻度でご利用されていますか。(○は1つ)



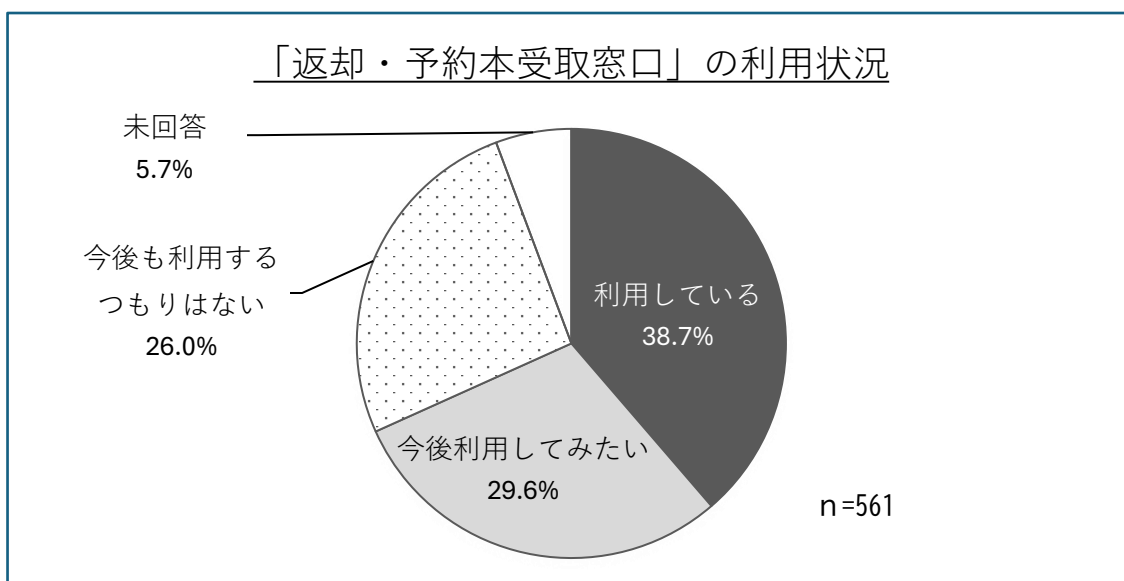
・「利用していない」が最も高く41.5%、次いで「週に2～4回程度」が17.8%、「週に5回以上」が11.9%となっています。

■問8：移動図書館以外にご利用される図書館や施設があれば教えてください。(○はいくつでも)
 ※複数回答のため、合計は100%を超えます。



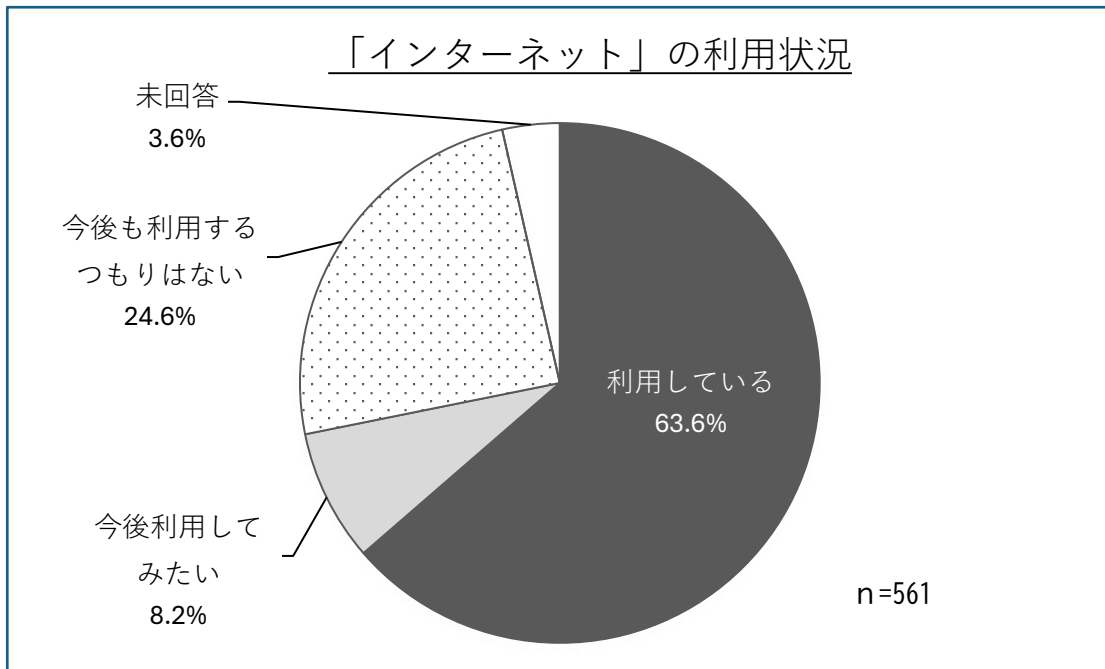
・「利用していない」が最も高く28.9%、次いで「中央図書館」が25.0%、「鶴川駅前図書館」が14.1%となっています。

■問9：町田市の「返却・予約本受取窓口」を利用していますか。(○は1つ)



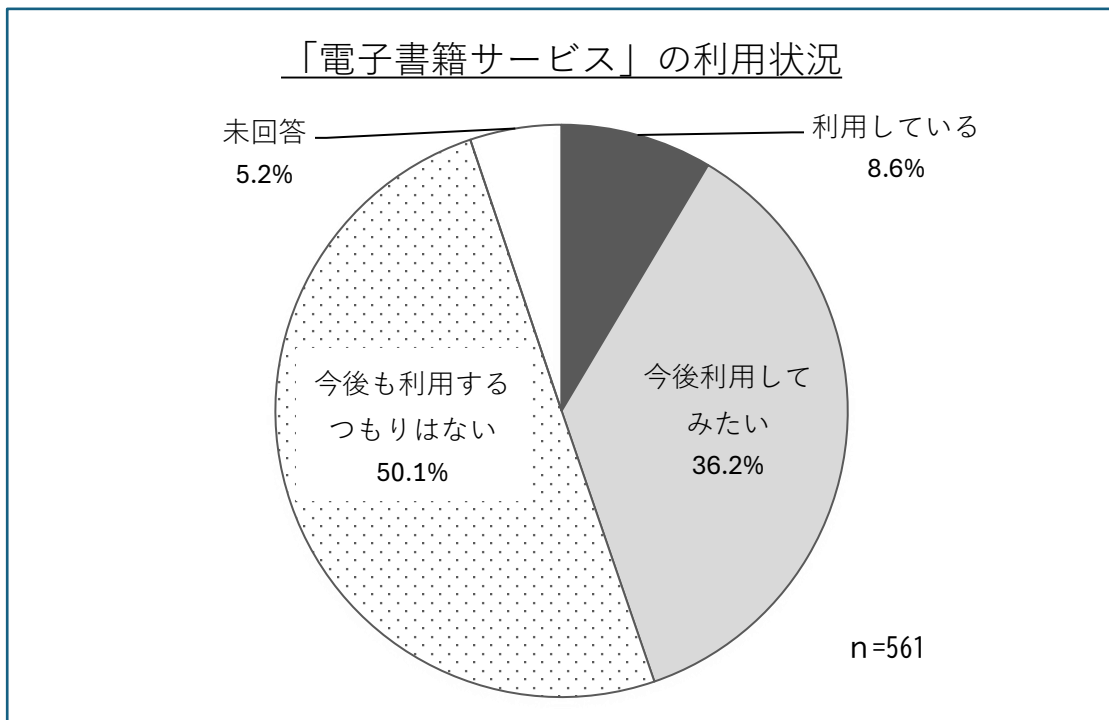
・「利用している」が最も高く38.7%、次いで「今後利用してみたい」が29.6%、「今後も利用するつもりはない」が26.0%となっています。

■問10：スマートフォンやパソコン等でインターネットを利用していますか。(○は1つ)



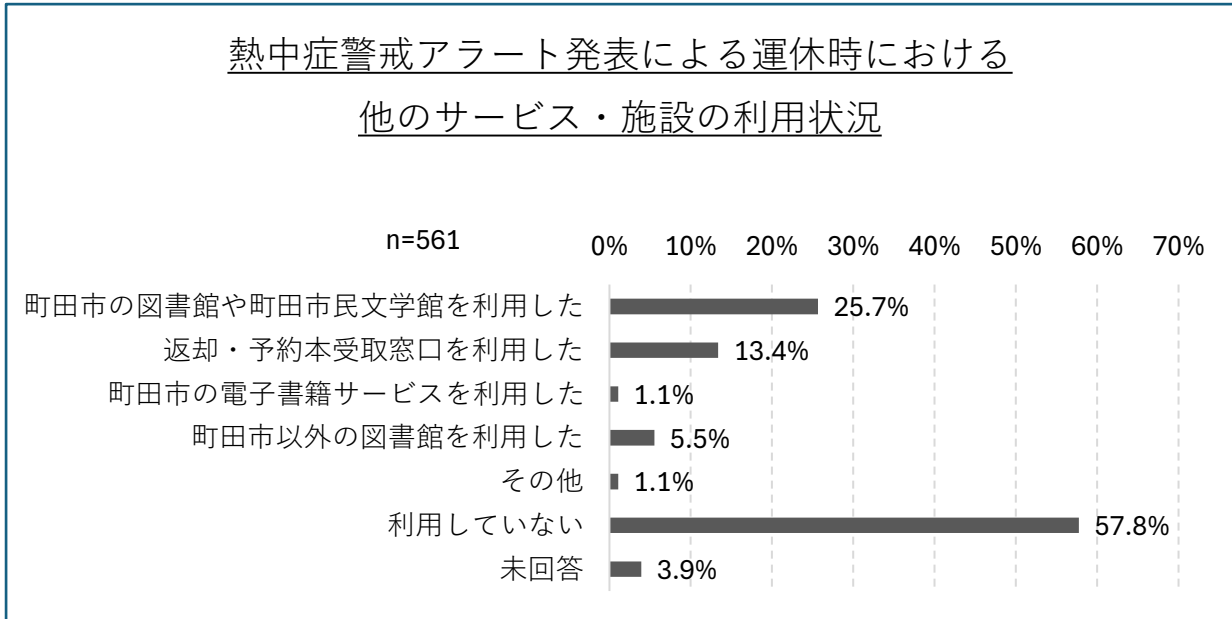
・「利用している」が最も高く63.6%、次いで「今後も利用するつもりはない」が24.6%となっています。

■問11：町田市の電子書籍サービスを利用していますか。(○は1つ)



・「今後も利用するつもりはない」が最も高く50.1%、次いで「今後利用してみたい」が36.2%となっています。

■問12：移動図書館が熱中症警戒アラートの発表により運休となっている間、図書館に関する他のサービスや施設を利用されましたか。(〇はいくつでも)
 ※複数回答のため、合計は100%を超えます



・「利用していない」が最も高く57.8%、次いで「町田市の図書館や町田市民文学館を利用した」が25.7%、「返却・予約本受取窓口を利用した」が13.4%となっています。

移動図書館 利用者アンケート

いつも移動図書館をご利用いただき、誠にありがとうございます。

町田市立図書館では、移動図書館の利用状況などを伺い運行改善の参考とさせていただくためアンケートを実施いたします。

お忙しいところ恐れ入りますが、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

※ご記入いただいた内容は、調査集計以外の目的には使用いたしません。

■問1：ご年齢について教えてください。(○は1つ)

1. 小学生
2. 中学生
3. 16～19歳
4. 20歳代
5. 30歳代
6. 40歳代
7. 50歳代
8. 60歳代
9. 70歳代
10. 80歳以上

■問2：本日はどなたと一緒に過ごしますか。(○はいくつでも)

1. 子ども(未就学児)
2. 子ども(小学生)
3. 親
4. 兄弟姉妹
5. 友人
6. なし
7. その他 ()

■問3：移動図書館をどのくらいの頻度でご利用されていますか。(○は1つ)

1. 毎回
2. 1か月に1回程度
3. 年数回
4. その他 ()

■問4：移動図書館をご利用される主な理由を教えてください。(○は1つ)

1. 近くまで来てくれるので便利だから
2. 建物の図書館までの交通手段がないから
3. 子どもが喜ぶから
4. 移動図書館が好きだから
5. 本を選びやすいから
6. 実際に本を見ながら選ぶことができるから
7. その他 ()

■問5：日常生活で主に利用される交通手段は何ですか。(○は1つ)

1. 鉄道
2. 路線バス
3. タクシー
4. 自動車(自分で運転)
5. 自動車(家族等が送迎)
6. オートバイ
7. 自転車
8. 徒歩
9. その他 ()

■問6：日常生活で利用される交通手段の中で、鉄道、路線バスおよびタクシーをどのくらいの頻度でご利用されていますか。(○は1つ)

1. 週に5回以上
2. 週に2～4回程度
3. 週に1回程度
4. 月に数回程度
5. 月に1回程度
6. 年に数回程度
7. その他 ()
8. 利用していない

■問7：日常生活で利用される交通手段の中で、自動車やオートバイをどのくらいの頻度でご利用されていますか。(○は1つ)

1. 週に5回以上
2. 週に2～4回程度
3. 週に1回程度
4. 月に数回程度
5. 月に1回程度
6. 年に数回程度
7. その他 ()
8. 利用していない

■問8：移動図書館以外にご利用される図書館や施設があれば教えてください。(○はいくつでも)

1. 中央図書館
2. さるびあ図書館
3. 金森図書館
4. 木曾山崎図書館
5. 堺図書館
6. 鶴川駅前図書館
7. 忠生図書館
8. 町田市民文学館
9. 町田市以外の図書館
10. 返却・予約本受取窓口 (※)
11. 利用していない
12. その他 ()

※小山市民センター・まちライブラリー@南町田グランベリーパーク・

子どもセンターぱお分館・成瀬コミュニティセンター・玉川学園駅前連絡所・
久美堂本町田店・つるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」

■問9：町田市の「返却・予約本受取窓口」を利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している
2. 今後利用してみたい
3. 今後も利用するつもりはない

■問10：スマートフォンやパソコン等でインターネットを利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している
2. 今後利用してみたい
3. 今後も利用するつもりはない

■問11：町田市の電子書籍サービスを利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している
2. 今後利用してみたい
3. 今後も利用するつもりはない

■問12：移動図書館が熱中症警戒アラートの発表により運休となっている間、図書館に関する他のサービスや施設を利用されましたか。(○はいくつでも)

1. 町田市の図書館や町田市民文学館を利用した
2. 返却・予約本受取窓口を利用した
3. 町田市の電子書籍サービスを利用した
4. 町田市以外の図書館を利用した
5. その他 ()
6. 利用していない

■自由記載欄

☆ アンケートは以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。

第6回町田市生涯学習審議会会議

日時 2026年1月29日(木) 10時～

会場 町田市役所10階 会議室10-2.3

次 第

- 1 答申「今後の町田市立図書館のあり方について」に係る取組状況について
- 2 生涯学習部の報告事項
- 3 その他

<資料>

資料1 答申「今後の町田市立図書館のあり方について」に係る取組状況について

資料2 生涯学習部の報告事項

答申「今後の町田市立図書館のあり方について」 に係る取組状況について

1. 町田市立図書館について

町田市立図書館は、1958年の開館以来、市内全域でのサービス提供を目標として、地域館の整備や移動図書館の運行を行ってきました。1998年には相模原市との相互利用を開始し、その後も京王線沿線の6市、川崎市、大和市、横浜市へとサービスを拡大することで、図書館が身近にない市民の利便性を向上させるとともに、他市の多くの市民へも図書館利用機会を提供してきました。現在は図書館7館体制でサービスを提供しており、うち3館は他の公共施設との複合館となっています。

町田市教育委員会では、所管する公共施設についてのあり方の検討を行うとともに、施設の管理運営や実施事業をより効率的に行うための見直しに向け、2018年10月、町田市生涯学習審議会に対して「今後の町田市立図書館のあり方について」を諮問し、2019年1月に答申をいただきました。

この答申を踏まえ、2019年2月に「町田市立図書館のあり方見直し方針」を策定し、これまで様々な見直しを進めてきましたので、現在の取組状況等について報告いたします。

2. 答申内容と現在の取組状況について

(1) 図書館サービスの見直し

<あらゆる市民が利用しやすい図書館>

答申概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代や居住地、生活スタイルにかかわらず、あらゆる市民にとって身近で利用しやすい図書館サービスを実現すること。 ・ 地域の情報拠点として、魅力ある蔵書や資料を収集・提供していくとともに、市民一人ひとりが必要な情報を容易に得られるよう、きめ細やかな支援を行うこと。
あり方見直し方針
<p>【あらゆる市民が利用しやすくする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の図書館利用の促進 ・ 開館日・開館時間の拡大 ・ 図書館利用に障壁のある市民へのサービスの充実 ・ 移動図書館巡回運行の見直し ・ 相互利用の拡大
現在の状況
<p>○ 積極的な図書館の情報発信に取り組んだ結果、X(旧 Twitter)のツイート数及びフォロワー数も増加しています。2018年度のツイート数は81件、フォロワー数は600人でしたが、2024年度にはそれぞれ118件、1,724人となりました。</p>

- 市民の図書館利用の促進に向け、主に高齢者をターゲットとしたスマホ体験講座やスマートフォン・タブレット個別相談会、小・中学生を対象としたタブレット等のデジタルツールを使用した創作体験講座等、図書館に親しんでもらうための講座等を開催しました。
- 2023年度から、予約資料受渡しサービス拠点の一つとして「久美堂本町田店」を追加、気軽に読書が出来る環境の整備をしました。
- 2022年度に指定管理者制度を導入した鶴川駅前図書館では、第1・第3以外の月曜日が開館日となり、開館時間は月～金曜日が9：30～20：00、土日祝日が9：30～18：00と拡大しました。
- マルチメディアデージー^{*1}上映会や児童向け点字体験会等を行い、読書バリアフリーに関する周知活動を行いました。デージー図書^{*2}再生機の貸出を2024年度から開始しました。
 - ※1 音声と一緒に文字や絵、写真などを見ることができるパソコンで読む本のこと。
 - ※2 目が見えない方や本を読むことが難しい方のための「音の本」。専用再生機やパソコンなどを用いて簡単な操作で聞くことができる。
- 来館せず24時間365日利用できる電子書籍サービスの提供を2022年度に開始しました。また、視覚障害がある方を対象に、電子書籍の音声自動読み上げサービス「アクセシブルライブラリー」を2025年度に導入しました。
- 移動図書館について2020年度から定期巡回場所の見直しを行い、幼稚園や保育園など子どもの集まる場所への出張運行を始めました。
- 2019年度に大和市立図書館、2020年度に横浜市立図書館との相互利用を開始しました。これで、町田市に隣接している市とは全て相互利用が可能となり、市民の利便性が向上しました。

今後の予定・課題

- タイムリーな情報発信を行うことや、ターゲットを絞った講座を開催することを通じて図書館の関心を高め、利用者の増加につなげていきます。
- 効果的な情報発信、来館者増加を実現するために、民間企業等との連携を進めていきます。具体的には、町田市と株式会社ゼルビアとの包括連携協定に基づいた、中央図書館の館内イベントの実施やゼルビアオリジナル図書館カレンダーの制作・配布等を予定しています。
- 引き続き従来の障がい者サービスや周知活動を継続することに加え、多様な資料を紹介する「りんごの棚」^{*}を設置するなど、新規利用者に向けた新たな周知活動を予定しています。
 - ※本を読むことに特別な配慮が必要な方向けの、点字図書、大活字本、録音資料など、多様でアクセシブルな資料のコーナー。
- 移動図書館の定期巡回場所の更なる見直しや老朽化した移動図書館車両の買替の検討を進めるとともに、子どもが集まる場所を中心とした出張運行先を拡大します。
- 引き続き相互利用10市との連携を行います。

<子どもの読書活動の充実につながる環境整備>

答申概要
<ul style="list-style-type: none">・未来の町田をつくる子ども達の読書週間を育むため、学校や学校図書館等との連携を強化し、子どもが魅力的な本とめぐり合える環境を整備すること。・読書活動を推進する団体・ボランティア等との連携・協力により、読書の魅力を感じることができる機会を充実させること。
あり方見直し方針
【子どもの読書活動を充実させる】 <ul style="list-style-type: none">・子ども読書活動の推進・学校図書館支援の充実・成長過程に応じた読書環境づくりの支援
現在の状況
<ul style="list-style-type: none">○ 2020年2月に「第四次町田市子ども読書活動推進計画（2020年度～2024年度）」、2025年3月に「第五次町田市子ども読書活動推進計画（2025年度～2029年度）」を策定し、子どもの読書活動を総合的・計画的に推進しています。また、小学校における英語の教科化などの動向を踏まえ、外国語の絵本・児童書の蔵書数の充実を図りました。加えて、英語多読講演会、英語絵本の読み聞かせ講演会を開催しました。○ 2023年度に来館せず24時間365日利用できる電子書籍サービスのIDを、全市立小・中学校の児童・生徒へ付与しました。○ 学校図書館支援では依頼件数と貸出冊数が減少しているため、学校が利用しやすいように2020年度から授業等のテーマに合わせた「テーマ別貸出セット」を事前に用意しました。さらに、より多くのテーマで利用いただけるよう、2023年度には「テーマ別貸出セット」を拡充しました。○ 市立小・中学校の新任教諭や学校図書館担当者を対象に、図書館の活用に関する研修等を行いました。○ 子どもが本に親しみ興味を持ってもらえるように、乳幼児向けから小学校低学年向けまで、年齢にあったおはなし会を行い、読書の機会を提供しています。また、図書館で購入した児童書の中から、図書館職員が選んだ年代別のおすすめ本を掲載したリーフレットを作成し、配布しています。○ 2020年度に中央図書館の中高生世代向けのヤングアダルト（YA）コーナーを拡大リニューアルし、若者が利用しやすい環境を充実させました。また、集会室を活用し、中高生を対象としたグループ学習室「わいわいキャレル」を土日祝日限定で運営しています。また、忠生図書館の多目的室も土日祝日や夏休み期間中に中高生向けの勉強スペースとして開放しています。○ 英語多読コーナーを、2020年度に中央図書館、鶴川駅前図書館及び忠生図書館に、2022年度にはさるびあ図書館、金森図書館、堺図書館に設置し、やさしい英

語絵本がどの地域でも手に取れる環境を整えました。また、ふるさと納税等も活用し、外国語図書は、2019年度の4,826冊から2024年度は8,434冊と充実を図りました。

今後の予定・課題

- 子どもの読書活動等に係る市民、小・中学校長、庁内関係部署の課長等を委員とする「町田市子ども読書活動推進計画推進会議」を継続して開催し、子どもたちが多くの本と出会う機会を得て、読書の楽しさを体験できるよう、取組を進めます。
- 学校のニーズに応じた学校図書館支援資料を拡充していきます。
- ⊖ おはなし会を開催するにあたり、対象年齢ごとのニーズにあった曜日や時間帯等での実施を検討します。また、おすすめ本を紹介したリーフレットの作成を行うにあたり、メールマガジン等の効果的な情報発信方法を検討します。
- 電子書籍サービスの利用が本を手にするきっかけとなるよう、子どもが興味・関心を持つ図鑑、学習マンガ等を中心に、児童書の充実を図ります。

<地域のコミュニティ形成を支援する図書館>

答申概要

- ・ 地域で読書活動を推進する団体やボランティアの活動を支援することを通じ、本や読書活動をきっかけとした人と人、人と団体とのつながりを築くこと。
- ・ 地域コミュニティの形成支援を通じ、地域の課題解決、地域の発展に寄与すること。

あり方見直し方針

【地域のコミュニティ形成を支援する】

- ・ 地域で活動するボランティアの支援
- ・ 本と出会える場所づくり支援
- ・ 関連団体との連携の強化

現在の状況

- 保育園・幼稚園や小学校、学童保育クラブで読み聞かせを行っている保護者を対象に、絵本等の読み聞かせ講座を行い、本の選び方や読み方の技術向上を支援しました。また、おはなし会ボランティア養成講座を開催し、図書館で活躍するボランティアを育成しました。
- 2023年度からイベントの企画・運営を行う若者ボランティア「図書館プランナー」が活動を開始し、図書館に来るきっかけとなる本の福袋などのイベントを実施しました。
- 気軽に本と触れ合う機会を提供することを目的として2021年度に地域文庫など市民が中心となって運営している施設の情報を掲載した「町田市読書MAP」を、2023年度には改訂版の「町田市読書MAP 2023」を作成・配布しました。あわせ

て、電子版を図書館ホームページで公開しています。また、市民が行う読書活動拡大の取り組みをホームページで紹介しました。

- 公共施設再編に伴い、鶴川図書館をつるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」に転換しました。「つるぼん」では、約20の地域団体と連携し、イベントを実施しています。
- 予約資料受渡サービスを行っていた「南町田駅前連絡所」が2023年1月に閉所することにもない、サービスを継続できるよう「まちライブラリー@南町田グランベリーパーク」と連携し、同年2月から同所にて予約資料受渡サービスを開始しました。

今後の予定・課題

- 今後も定期的に市民向け絵本の読み聞かせ講座、おはなし会ボランティア養成講座を開催し、ボランティアの活動を支援します。また、講座の内容が画一的にならないよう、絵本の読み聞かせだけでなく、紙芝居やわらべうたをテーマにした講座を行い、ボランティアの技術向上を目指します。
- 2025年度中に「町田市読書MAP」の改訂を行います。
- 市民が行う読書普及活動等の情報収集を行い、情報発信を行います。

<地域の課題や社会状況の変化に対応した運営>

答申概要

- ・その時々々の社会状況や地域の課題に対応するよう運営やサービスの手法を絶えず見直すこと。
- ・外国人居住者の増加に対応した運営、電子書籍市場の拡大、教育現場でのICT導入などの動向を踏まえた新たなサービスを展開すること。

あり方見直し方針

【地域の課題や社会状況の変化に対応する】

- ・インターネットや電子情報の利用環境の整備
- ・地域資料のデジタル化と公開

現在の状況

- 来館せず24時間365日利用できる電子書籍サービスの提供を2022年から開始しました。司書が毎月選書を行い、提供コンテンツに追加しています。また、毎月特集を組んでコンテンツの紹介をすることで、利用の促進を行っています。
- 中央図書館では図書館内でのインターネット調査や電子書籍サービスが利用できるよう、2022年度から貸出用タブレット端末の提供を開始しました。
- 2025年3月から図書館全館でフリーWi-Fiを利用できる環境を整えました。
- 図書館ホームページから登録・更新手続きができる「オンライン利用登録・更新」、スマートフォンで利用券を表示できる「デジタル利用券」、町田市公式LINEから本

の検索・予約、利用券表示ができる「LINE連携」、入力したキーワードをAIが解析して蔵書探索を行う「蔵書探索AI」など、新機能を実装した図書館システムを2025年3月に導入しました。

- 2025年3月にリニューアルした図書館ホームページでは「やさしいにほんご」、「英語」、「中国語（繁体字・簡体字）」、「ハングル」への機械翻訳を導入しました。また、図書館の利用案内の「英語」、「中国語（簡体字）」、「やさしいにほんご」版の改訂を行いました。
- 創刊からの『広報まちだ』の縮刷版など、過去の行政資料や地域資料を保存・デジタル化し、インターネット上で閲覧できるよう、電子書籍サービスにて公開しました。
- 町田市の施策や町田市の魅力をより多くの方にPRするために、関連部署と連携して設置する「特集コーナー」を充実させました。

今後の予定・課題

- 電子書籍サービスにて利用者が読みたいコンテンツに出会えるよう、サイト上で特集を組むなどの各種PRを行います。
- 引き続き情報収集に努め、市民ニーズに合ったサービス展開を図る必要があります。
- 電子書籍サービスにおいて地域資料の閲覧ができることについて、利用者に対して周知を進めます。
- 関連部署と連携した「特集コーナー」を継続していきます。

(2) 再編を進めるうえでの留意点

答申概要及びあり方見直し方針

- ・サービス利用に格差が生じることのない再編の検討
- ・図書館がもつ機能や役割の維持
- ・新たな利用者の獲得につながる再編の検討
- ・コミュニティの核となる地域住民や利用者との対話
- ・運営体制検討の視点

現在の状況

- 鶴川図書館の再編にあたっては、2020年度から地域との対話を始め、意見交換を重ねながら図書の提供機能や、コミュニティ機能を持つ民設民営の施設へ転換する方向性を決めました。
- 施設の運営にあたっては、2023年度に地域の方々などによる運営法人が設立し民設民営化の準備が行われ、2025年5月につるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」がオープンしました。
- 「つるぼん」という愛称は子どもセンター「つるっこ」など鶴川地域の公共施設での投票により決まりました。

- 「つるぼん」では、図書の提供機能として町田市立図書館の図書の返却や予約本受取を続け、運営団体が管理している約15,000冊の本を貸出しています。コミュニティ機能として、館内に飲食や自由に話ができるスペースを用意したほか、様々な地域団体と連携したイベントを実施し、地域のつながりづくりに取り組んでいます。
- 居心地が良い環境づくりや興味関心を惹く本の配架、さらに鶴川図書館では実施していなかったアートとコラボした館内イベントなどを実施することにより、新たな利用者の獲得につながっています。
- 「つるぼん」では、オープンから12月までの来館者累計が75,761人に達し、月平均の来館者は「つるぼん」転換前の鶴川図書館の約8,800人に迫る、約8,400人となりました。

今後の予定・課題

- 地域でのコミュニティづくりが進むよう運営支援を継続します。

しょうがくせいたいししょう
小学生対象イベント

エコたわし をつくろう

SDGs



けいと せんざい
毛糸をつかって、洗剤のいら
ないエコなたわしを作りましょう！
ゆびあ かんたん つく
指編みで簡単に作れます。
SDGs⑭【海の豊かさを守ろう】
についても学べますよ！

日時 2025年2月15日(土) **定員** 10人(先着申込順)
午前11時から12時

会場 町田市立中央図書館
4階おはなしのへや

持ち物 なし

申込 ■Web受付
町田市イベント申込システム(通称イベシス)
年中無休24時間受付
イベントコード(250116C)
で検索してください

■電話受付
町田市イベントダイヤル
(042-724-5656)
年中無休 午前7時から午後7時まで

■受付(電話・Web受付)
1月16日(木)正午から
2月9日(日)まで
(Web受付は午後11時59分、
電話受付は午後7時)まで

【イベシスQRコード】


図書館プランナーとは？
自由な発想で、図書館でやってみたいこと
の企画・運営などを行う、15歳(中学生を
除く)から25歳までのボランティアです。

詳細はまちだ子育てサイトを
ご覧ください！


町田市立中央図書館 企画・地域支援係 ☎ 042-728-8220

電子書籍 サービスの ご案内



電子書籍サービスキャラクター「ブックロー」

【利用対象】
利用券をお持ちの町田市在住・在勤・在学の方

【ID・パスワード】
ID：利用券番号8桁
パスワード：生年月日8桁
(例) 2016年01月06日⇒20160106

【貸出】
3点まで、2週間(336時間)以内
※予約がない場合に限り1回まで延長可

【予約】
3点まで
取置期間：3日間(72時間)

くわしくはこちら →  

【町田市立図書館e-Bookサービス】
【電子書籍サービスサイト】

2025 図書館プランナー 募集中!

図書館でやってみたいこと
ありませんか？

対象
15~25歳まで(中学生を除く)の、中央
図書館で行う集まりに参加できる方
(随時受付・先着30名)

受付
mcitv6360@city.machida.tokyo.jpへ応募！
件名を「図書館プランナー応募」として、本文に、名前と
ふりがな、住所、学校名・学年(または年齢)、連絡先(電話
番号)を入れてください。

活動日時
月2回程度行う予定
(その他イベント企画・運営あり！)
2025年度第1回目のミーティング
は4月20日(日)に行います！

詳しくは町田市立図書館ホームページを
ご覧ください。
図書館プランナー募集ページ
(町田市立図書館ホームページ)



問合せ先：町田市立中央図書館 企画・地域支援係 ☎ 042 728 8220

つるぼん tsurubon

つるかわ図書コミュニティ施設

2025年春、鶴川団地センター名店街区に、
新たにつるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」が生まれます。

オープンにあたりプレオープンとグランドオープンイベントのご案内です。
場所：つるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」(旧鶴川図書館) 参加無料

プレオープン

- 日時：4/29(水)~5/9(金)
※5/5、5/8を除く
11:00~15:00
- 内容：施設内の見学
つるぼん貸出カード作成

◎本・雑誌・書物の取扱いについては、10日以内の返却が義務付けられています。
◎10日以内の返却が義務付けられています。

グランドオープンイベント

- 日時：5/10(土)
11:00~15:00
- 内容：オープニングセレモニー、シャボン玉ショー
トークセッション、おはなしに出会う会
ポッチャ体験、ワークショップ、バザー

本がある
キミがいる
つながる
つるぼん

一般社団法人つるかわ図書コミュニティ施設運営協議会